

2020(令和2)年度

共 通 教 育 履 修 案 内

愛媛大学共通教育センター

は じ め に

愛媛大学は、自ら学び、考え、実践する能力をもつ人間性豊かな人材を育成するという目的を達成するための教育を行っています。愛媛大学の教育は、共通教育と専門教育に大別されます。共通教育では、学生の皆さんが様々な角度から物事を見ることができる能力や、自主的・総合的に考え、的確に判断する能力を身に付け、豊かな人間性を養うことを目指して教育を行っています。専門教育では、幅広い共通教育を踏まえた上で、各学部の理念や目的に沿って、それぞれの専門分野において活躍できる人材を養成するための教育を行っています。

共通教育を実施する拠点として共通教育センターが設置されています。共通教育センターでは、皆さんが、自立した市民として行動するために必要な知の基盤を培うことを目的として、体系的なカリキュラムの開発に取り組み、皆さんの成長に寄与する授業の実現を目指して、全学の教員の参加のもと授業を実施しています。

大学での学びは、高校までと異なり、学生自身が主体的に取り組むことになります。学生自身が考え、行動し、学びの成果を自ら活用する「学習力」を高める必要があります。愛媛大学では、学部ごとに卒業に必要な履修単位数や履修条件が定められています。共通教育科目の履修にあたっては、自分が所属する学部の「履修の手引」・「修学の手引」を十分に理解した上で、皆さんが本学で勉強する4年間（6年間）で何を学びたいのか、どのような力を身に付けたいのかを認識して、しっかりとした履修計画を立ててください。

この「履修案内」は、愛媛大学に入学された皆さんが、愛媛大学における勉学の期間を有意義に過ごすために、4年間（6年間）の大学教育の入口でもある共通教育で「何をどのように学ぶか」ということを理解してもらうための指針として作成したものであり、皆さんが愛媛大学を卒業するために必要な共通教育の履修要件等に関する案内です。

卒業まで大切に保管してください。

I. 主要なスケジュール	
1. 令和2年度 学年暦	4
2. 令和2年度 前学期の共通教育関係主要日程	4
3. 令和2年度 共通教育関係授業日程	5
II. 愛媛大学における学び	
1. 愛媛大学憲章（抜粋）	6
2. 愛媛大学学生として期待される能力〔愛大学生コンピテンシー〕	6
3. 共通教育の理念と教育方針	7
III. 愛媛大学における学びのしくみ	
1. 大学の授業を学ぶための基本知識	8
2. 授業時間	8
3. 単位制度	8
(1) 単位の計算方法	
(2) 大学での授業時間数及び授業時間外学習と単位数との関係	
4. 履修登録単位数の上限設定（CAP制）	9
5. 成績の評価	9
6. 全学共通GPAについて	10
(1) 全学共通GPA導入の目的	
(2) 全学共通GPA（成績平均値）の計算式	
(3) 履修登録科目の取消について	
(4) GPAの確認方法	
7. 科目ナンバリング	11
8. 卒業の要件	11
IV. 共通教育の学び	
1. 初年次科目	12
2. 基礎科目	13
3. 教養科目	14
4. 発展科目	14
5. 留学生対象科目	14
V. 共通教育授業科目表	
1. 初年次科目	15
2. 基礎科目	15
3. 教養科目	16
4. 発展科目	18
5. 留学生対象科目	19
VI. 学部ごとの履修単位表及び教育課程表	
法文学部	21
教育学部	24
社会共創学部	26
理学部	28
医学部	30
工学部	33
農学部	35
VII. 履修登録手続等	
1. 履修登録の方法	37
2. 履修登録の時期	37
3. 履修登録の手順	37
4. 時間割表の見方	38
(1) 共通教育科目授業時間割表の見方	
(2) 法文学部授業時間割表の見方（法文学部夜間主コースのみ該当）	
5. シラバスの見方	40
6. 履修のルール	41
(1) 履修上の注意事項	
(2) 初年次科目	
(3) 基礎科目	

- (4) 教養科目
- (5) 発展科目
- (6) 留学生対象科目
- (7) 教育職員免許状を取得する場合に必要な科目
- (8) 「愛媛県内就職・定住促進」教育プログラムに関する科目
- (9) 海外で実施する科目

VIII. 受講上の注意事項

- 1. 授業に関する連絡…………… 57
 - (1) 修学支援システム
 - (2) 共通教育掲示板
 - (3) 電子掲示板
 - (4) 共通教育センターホームページ
 - (5) 英語教育センターホームページ
- 2. 授業の実施場所等…………… 58
 - (1) 教室
 - (2) 教室変更
- 3. 休講・補講…………… 59
 - (1) 通常の休講・補講
 - (2) 気象等に関する特別警報又は台風に伴う暴風警報が発表された場合の授業の取扱いについて
- 4. 授業の欠席…………… 59
- 5. 試験及び成績…………… 59
 - (1) 試験
 - (2) 試験等における受験上の注意
 - (3) 不正行為
 - (4) レポートの提出
 - (5) 追試験
 - (6) 成績の通知
 - (7) 成績確認申立
- 6. 授業改善のためのアンケート…………… 61

IX. 学びのサポート

- 1. 教科書…………… 62
 - (1) 購入方法
 - (2) 活用方法
- 2. 大学内での自主的な学習…………… 62
 - (1) 図書館を利用する
 - (2) 総合情報メディアセンターを利用する
 - (3) 愛大ミューズ内のパソコン室を利用する
 - (4) 愛大ミューズ内のラウンジを利用する
- 3. 学習支援…………… 63
 - (1) オフィスアワーを活用する
 - (2) ティーチング・アシスタント (TA) を活用する
 - (3) スチューデント・アシスタント (SA) を活用する
 - (4) スタディ・ヘルプ・デスク (SHD) を利用する
- 4. 自主的な英語学習…………… 64
- 5. 履修に関する質問…………… 64
 - (1) 共通教育チームを利用する
 - (2) 法文学部夜間主コース専用窓口を利用する
 - (3) 英語教育センター事務室を利用する
 - (4) ピア@カフェを利用する

【巻末資料】

- 1. 修学支援システム…………… 65
- 2. 窓口案内・掲示板案内…………… 72
- 3. 学内案内図…………… 73
- 4. 教室等配置図…………… 74
- 5. 規則一覧…………… 78

I. 主要なスケジュール

令和2年度の大学の行事と共通教育関係の前学期の重要なスケジュールを示しています。
よく確認してください。

1 令和2年度 学年暦

事 項	日 程
学年始め・前学期開始	令和2年4月1日(水)
入学式	令和2年4月6日(月)
夏季休業	令和2年8月7日(金)～9月30日(水)
前学期終了	令和2年9月23日(水)
後学期開始	令和2年9月24日(木)
開学記念日	令和2年11月11日(水)
冬季休業	令和2年12月24日(木)～令和3年1月7日(木)
学位記授与式	令和3年3月24日(水)
学年終わり・後学期終了	令和3年3月31日(水)

2 令和2年度 前学期の共通教育関係主要日程

日 程		事 項
4月	1日(水)	前学期開始
	2日(木)～3日(金)	履修指導 (学部・学科別で履修指導の時間・場所が異なります。) 数学力テスト(教育・理・工・農)
	4日(土)～5日(日)	履修登録【修学支援システム】 (学部・学科別で履修登録の時間・場所が異なります。)
	6日(月)	教養科目抽選【履修登録不可】
	7日(火)～14日(火)	抽選結果確認、履修登録の確認・修正【修学支援システム】
	8日(水)	前学期授業開始(第1クォーター授業開始)
5月	下旬	期末試験(授業時間内で適宜実施) 授業改善のための学生アンケート【修学支援システム】
6月	11日(木)	第2クォーター授業開始
7月	下旬	期末試験(授業時間内で適宜実施) 授業改善のための学生アンケート【修学支援システム】
8月	7日(金)	夏季休業開始
9月	26日(土)	後学期授業開始(第3クォーター授業開始)
	30日(水)	夏季休業終了

【備考】

1. 後学期の授業開始は、10月1日を原則としますが、授業日数を確保するため曜日によっては9月最終週から授業を開始します。
2. 夏季休業及び冬季休業の期間中に集中講義、補講等の授業を行うことがあります。
3. 令和3年度以降の学年暦及び令和2年度後学期の主要日程については、掲示板等で確認してください。

3 令和2年度 共通教育関係授業日程

	日	月	火	水	木	金	土
	5	6	7	1	2	3	4
4月	新入生履修登録	入学式 教養科目抽選	履修登録修正開始 ^①	前学期開始	共通教育履修ガイダンス 数学力テスト	共通教育履修ガイダンス 数学力テスト	新入生履修登録
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	1	2
5月	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31	1	2	3	4	5	6
6月	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	1	2	3	4
7月	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	31	1
8月	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	31	1	2	3	4	5
9月	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	1	2	3
10月	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31
11月	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	1	2	3	4	5
12月	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31	1	2
1月	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31	1	2	3	4	5	6
2月	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	1	2	3	4	5	6
3月	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31			

- 注1. セメスター制授業の場合、第1・第2クォーター、第3・第4クォーターで①～⑬とする。
 2. 夏季休業期間中(8/7～9/30)の8月7日(金)、8月11日(火)、9月26日(土)は、授業を実施する。
 3. 冬季休業期間中(12/24～1/7)の12月24日(木)、1月7日(木)は、授業を実施する。
 4. 11月19日(木)の授業は、月曜日7回目の授業とする。

Ⅱ. 愛媛大学における学び

1 愛媛大学憲章（抜粋）

愛媛大学は、自ら学び、考え、実践する能力と次代を担う誇りをもつ人間性豊かな人材を社会に輩出することを最大の使命とする。とりわけ、国際化の加速する時代において地域に立脚する大学として、地域の発展を牽引する人材、グローバルな視野で社会に貢献する人材の養成が主要な責務であると自覚する。愛媛大学は、相互に尊重し啓発しあう人間関係を基調として、「学生中心の大学」「地域とともに輝く大学」「世界とつながる大学」を創造することを基本理念とする。

《基本目標》

【教育】

- (1) 愛媛大学は、正課教育、準正課教育、正課外活動を通して、知識や技能を適切に運用する能力、論理的に思考し判断する能力、多様な人とコミュニケーションする能力、自立した個人として生きていく能力、組織や社会の一員として生きていく能力を育成する。
- (2) 大学院においては、人間・社会・自然への深い洞察に基づく総合的判断力と専門分野の高度な学識・技能を育成する。
- (3) 愛媛大学は、国内外から多様な学生を受け入れるとともに、世界に通用する人材育成のための教育環境を提供する。
- (4) 愛媛大学は、入学から卒業・修了まで安心して充実した大学生活を送ることができるよう学生を支援し、主体的な学びを保証する。

2 愛媛大学学生として期待される能力〔愛大学生コンピテンシー〕

5つの能力	12の具体的な力
I. 知識や技能を適切に運用する能力	1. 必要な情報を収集・整理できる 2. 個別の知識や技能を相互に関連づけながら習得できる 3. 習得した知識や技能を基に自分の考えを組み立て、適切に表現（記述・口述）できる
II. 論理的に思考し判断する能力	4. 広い視野と論理的思考に基づき分析・解釈できる（クリティカル・シンキング／創造的思考） 5. 客観的根拠に基づき判断し、解決策を提示できる（意思決定・判断力／課題探求・発見・解決力）
III. 多様な人とコミュニケーションする能力	6. 様々な状況に応じて適切な対話・討論ができる（ダイアログ／ディスカッション／プレゼンテーション） 7. 目的達成のために多様な人と協働できる（協調性／チームワーク／リーダーシップ）
IV. 自立した個人として生きていく能力	8. 自らの個性や適性を活かして行動できる（自己理解／自己決断／リフレクション） 9. 社会的関係の中で自分の行動を調整できる（順応性／セルフマネジメント／規範遵守）
V. 組織や社会の一員として生きていく能力	10. 他者を理解し、他者のために役立つことができる（「お接待」の心／ホスピタリティ） 11. 集団・組織の一員として自覚と誇りをもって行動できる（責任感／連帯感／帰属意識／愛校心） 12. 地域や国内外の課題を自ら考察し、解決に向けて行動できる（社会参画／社会貢献／グローバルマインド）

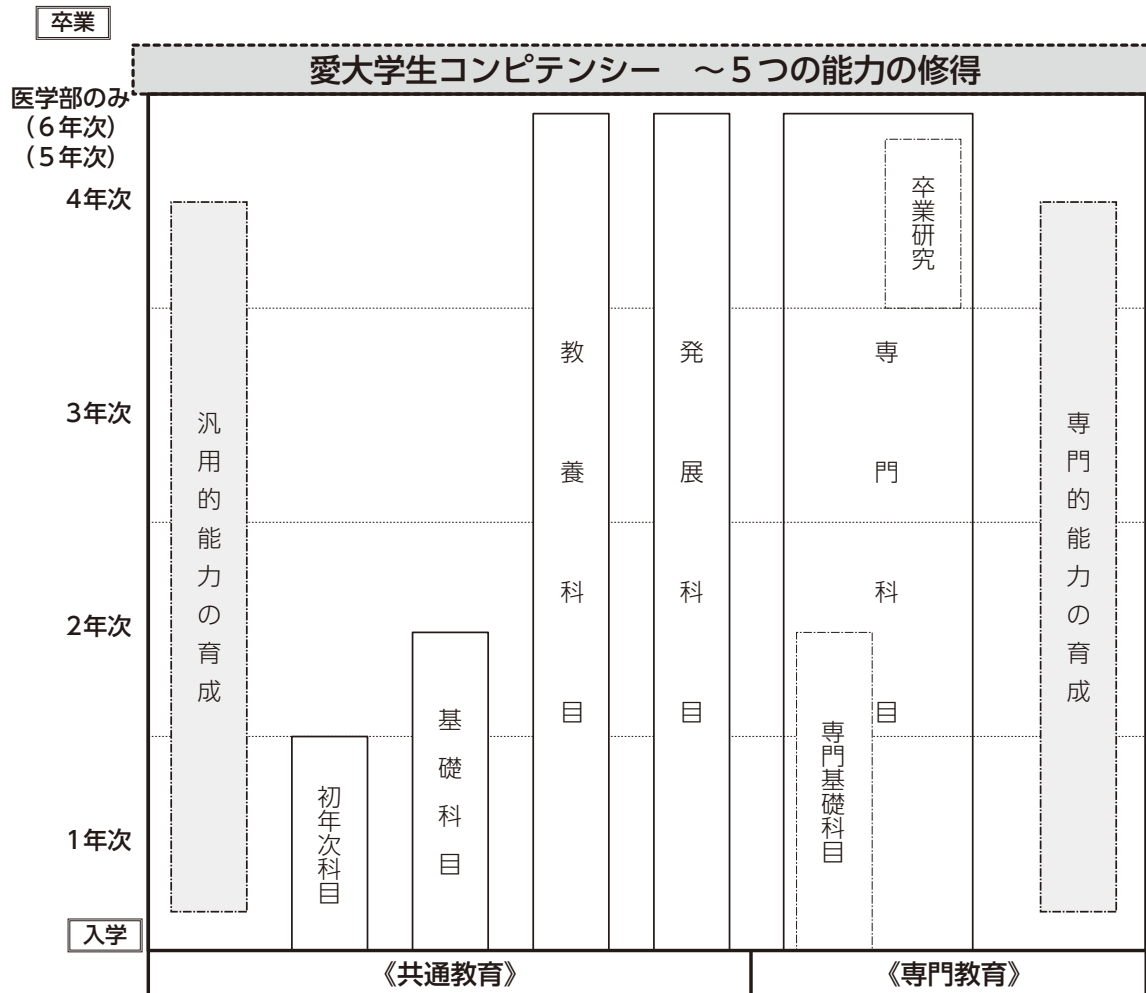
3 共通教育の理念と教育方針

共通教育の目的は、専門教育と連携しながら、学生が自ら学び、考え、実践する姿勢と能力を身に付け、専門学習のための基盤を整えて専門性の獲得に備えると共に、様々な分野の知を探究することによって、豊かな創造性、人間性、社会性を培うことにある。

共通教育のカリキュラムは「学士基礎力」の育成を目指して編成される。学士基礎力とは、愛媛大学憲章、愛大学生コンピテンシー及び各学部のディプロマ・ポリシーに謳われている、自立した個人として生きていくのに必要な力（「学士力」）の修得のために、学生が身に付けておくべき、以下に掲げるような項目に係る基礎的能力のことである。

- ① 自らの個性や適性に基づき学び続ける姿勢（基本姿勢）
自分に向き合う／前に踏み出す／自ら必要な知識や技術を学ぶ／自己管理・健康管理／社会的ルールの尊重
- ② 多様な人と協働するための表現力やコミュニケーション力（基本的コミュニケーション力）
聴く力／表現する力／チームで働く力／リーダーシップ
- ③ 学習活動や社会生活に必要な技能（基本技能）
外国語の基礎的運用能力／数量的スキル／情報リテラシー
- ④ 多角的な視点を培うのに必要な幅広い基礎知識（基礎知識）
諸科学の基礎的知識／異文化理解／人文・社会・自然分野についての包括的理解
- ⑤ 問題の発見・解決に取り組むための思考力（基本的思考力）
課題を発見する力／論理的思考力／科学的思考力／知識・情報の運用力／計画力

愛媛大学における学びの流れ



Ⅲ. 愛媛大学における学びのしくみ

1 大学の授業を学ぶための基本知識

- (1) 学 期：本学は、1年間（学年）を前学期と後学期の2つの学期に分けています。
さらに、共通教育では、前学期を第1，第2クォーター，後学期を第3，第4クォーターにそれぞれ2つに分けています。
- (2) 履 修：ある授業科目を大学が定めた教育課程に従って学修することで、自らが受けたい授業の登録を行い、所定の時間数の授業を受け、試験等に合格すれば単位を修得できます。この一連の流れを履修といいます。
- (3) 履修登録：その年度（学期）に履修しようとする科目の授業を受けるための手続のことです。
- (4) 単 位：授業科目の学修を数量的に表すものです。授業科目には学修時間に応じた単位数が定められています。
- (5) シラバス：授業計画を表し、授業担当教員、授業の概要、各回の授業の計画等が記載されています。シラバスは、授業科目を履修する際の事前情報として活用してください。

2 授業時間

本学における授業時間は90分を1時限として、共通教育では次の時限と時間で授業を実施しています。

【月～金曜日】

時限	1	2	3	4	5
時間	8:30～10:00	10:20～11:50	12:40～14:10	14:30～16:00	16:20～17:50

※医学部の授業時間帯は、学部の手引に従ってください。

法文学部夜間主コース時間帯

【月～金曜日】

時限	6	7
時間	18:00～19:30	19:40～21:10

【土曜日】

時限	1	2	3
時間	13:30～15:00	15:10～16:40	16:50～18:20

3 単位制度

(1) 単位の計算方法

授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としており、この45時間は、大学の教室等における授業時間と授業時間外の学習（予習・復習等）を合わせた時間で成り立ちます。大学の教室等における授業時間及び授業時間外学習と単位数の関係は、それぞれ次のとおりです。

(2) 大学での授業時間数及び授業時間外学習と単位数との関係

授業形態	単位数	授業時間数	授業時間外学習（予習・復習等）
講義	1単位	週1時間×15週＝15時間	週2時間×15週＝30時間
演習	1単位	週2時間×15週＝30時間	週1時間×15週＝15時間
実験	1単位	週2時間×15週＝30時間	週1時間×15週＝15時間
実習	1単位	週2時間×15週＝30時間	週1時間×15週＝15時間

4 履修登録単位数の上限設定（CAP制）

愛媛大学では、学生の履修登録単位数の上限を設け、1学期間に履修登録できる単位数が制限されていますので、注意してください。これは、一つ一つの授業科目をそれぞれ十分に学習してもらうための措置です。また、上限を設けている具体的な理由は次のとおりです。

大学の単位を修得するためには、授業を受講する以外に、教室外での自学自習（予習、復習、その他の課題、教育体験やボランティア活動など）を併せて行い、受け身でない主体的な学習を行うことが求められています。

制度上のルールでは、1単位は教室での授業と教室外の自学自習を合わせ、45時間の学習を必要とするものとされています。このため、1単位の授業科目で、1学期間に週1回合計15回の授業がある場合には、教室での授業を含め、週3時間の学習が必要になります。

例えば、1人の学生が1週間で学習できる時間を72時間（日曜日以外、毎日12時間学習すると仮定）としても、1学期間に履修できる単位数は24単位、2単位の授業科目であれば12科目分が履修の限度になります。これより多い授業科目を履修しようとすれば、授業の予習・復習などが十分にできなくなり、学習内容を身に付けることができない恐れがあります。このことを防止し、履修登録した授業科目をそれぞれ十分に学習することができるよう、1学期間中に履修登録できる単位数を制限しているものです。

予習や復習の他にも、図書館で参考文献を講読したり、各種の体験活動に参加して知識・技能を高めたり、教員や先輩と話をするなど大学生活ではぜひ自分なりのテーマを発見して解決する、学ぶことの楽しさを感じてください。

※詳細については、各学部の学務チーム窓口又は各学部の履修案内等で確認してください。

5 成績の評価

（1）学業成績の評価は、試験及び平素の成績を総合して判定します。

試験は、筆記、レポート、口述等により実施します。平素の成績は、研究報告、随時行う小テスト、学習状況等により判定します。学業成績の判定については、授業科目ごとに、シラバスの「成績評価方法」の項目に記載されていますから参考にしてください。

（2）成績は、100点満点で評価され、点数により次のような「評語」が与えられます。

60点以上の評点を得た科目は、合格となり、所定の単位を修得できます。

なお、開講時数の3分の2以上の出席をしていない場合は、「評価しない」として成績の判定が行われず、単位は認定されません。

評語	評点
秀	90～100点
優	80～89点
良	70～79点
可	60～69点
不可	60点未満
評価しない	出席不足など評価基準に達しない

6 全学共通GPAについて

(1) 全学共通GPA導入の目的

学生自身による学習プロセス及び達成状況の自己管理に役立てるとともに、教員による学生の学修状況の把握及びきめ細やかな指導・助言を行うために全学共通GPAを導入します。

(2) 全学共通GPA（成績平均値）の計算式

$$\text{GPA} = \frac{4 \times \text{「秀」の単位数} + 3 \times \text{「優」の単位数} + 2 \times \text{「良」の単位数} + 1 \times \text{「可」の単位数} + 0 \times \text{「不可」・「評価しない」の単位数}}{\text{総履修登録単位数（「不可」・「評価しない」を含む）}}$$

※ 共通教育科目及び専門教育科目の全ての科目が対象となります。ただし、「認定」、「合格」で評価された科目及び履修登録科目の取消（以下（3）を参照）を行った科目は計算式に入りません。

【GP（grade point）と成績評価点】

GP	評 語	点 数 等
4	秀	90～100点
3	優	80～89点
2	良	70～79点
1	可	60～69点
0	不可	60点未満
0	評価しない	出席不足など評価基準に達しない

(3) 履修登録科目の取消について

履修登録確認・修正期間を過ぎても、***取消期間**中であれば履修登録科目を取消することができます。履修登録科目取消届を共通教育チーム窓口へ提出し、取消しの手続きを行ってください。

***取消期間**中に取消できなかった科目は成績評価の対象科目となり、GPAの計算式に入ります。ただし、病気・けがによってそれ以降履修を取りやめる場合は、取消しできる場合がありますので、共通教育チーム窓口にお問い合わせください。なお、履修登録後、休学・退学した場合及び除籍された場合は、取消期間に関わらず履修登録科目は自動的に取消されます。

履修登録は、学生生活担当教員（指導教員）の履修指導を受け、履修計画を立ててから行ってください。

***取消期間**

各授業科目につき、開講時数に対応する授業の回数が15回の場合は6回目の授業が始まるまで、8回の場合は4回目の授業が始まるまで、それ以外の場合は開講回数に3分の1を乗じて得られた数（小数点以下切り上げ）に1を加えた回数の授業が始まるまでとなります。ただし、既に欠席が開講回数の3分の1を超えている場合の取消は認められません。

(4) GPAの確認方法

修学支援システムの「個別成績表」及び「成績集計値・GPA」に、通算GPA、GPT（GPの合計）、学期GPA、GPTが表示されます。

7 科目ナンバリング

大学で開講している授業の水準や授業内容などを授業科目毎に特定の記号や数字を付与し、カリキュラムの体系性（科目群の構成や科目間の順次性）をわかりやすく示したものです。学生のみなさんにとっては、科目ナンバリングを教育課程表やシラバスで確認することで、授業の登録や履修を主体的かつ計画的に進めるための一助となります。

（例）共通教育初年次科目『こころと健康』GnE1A-0FRS-003

GnE	+	1	+	A	-	0	+	FRS	-	003
【1】		【2】		【3】		【4】		【5】		【6】

共通教育科目のナンバリングのルール

【1】開講学部学科

共通教育	GnE
------	-----

【2】学年レベル 1,2,3,4

【3】科目区分（大科目群に分類）

初年次科目	A
-------	---

基礎科目	B
------	---

教養科目	C
------	---

発展科目	D
------	---

留学生対象科目	E
---------	---

【4】分野大分類 0（その他）

【5】科目分類（科目群に分類）

初年次科目	FRS	(freshmen)
-------	-----	------------

基礎科目

英語（科目群）	ENG	(English)
---------	-----	-----------

数学（科目群）	MTH	(mathematics)
---------	-----	---------------

その他	BAS	(basic)
-----	-----	---------

教養科目

主題探究型科目	THM	(theme-based)
---------	-----	---------------

学問分野別科目	CAT	(category-based)
---------	-----	------------------

初修外国語	FRL	(foreign language)
-------	-----	--------------------

高年次教養科目	HGH	(high degree)
---------	-----	---------------

教員免許に関する科目	TCH	(teacher's license)
------------	-----	---------------------

発展科目	XTN	(extension)
------	-----	-------------

留学生対象科目	INS	(international student)
---------	-----	-------------------------

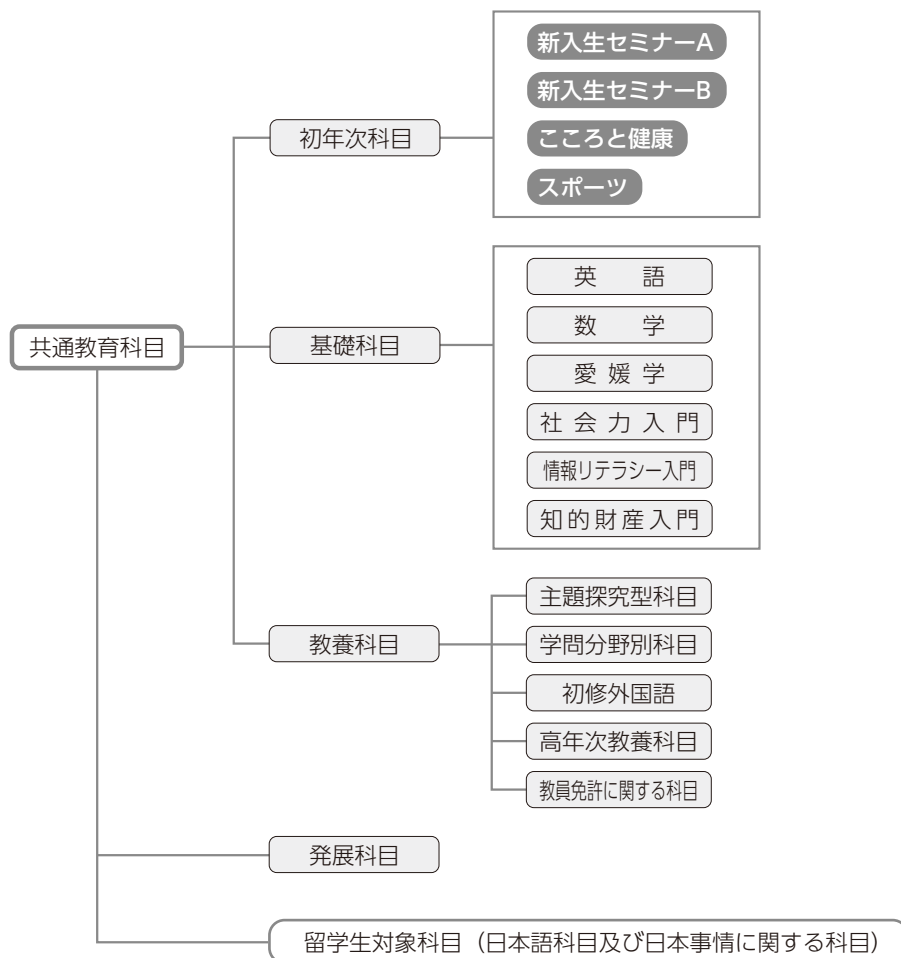
【6】科目番号 科目ごとに付番

8 卒業の要件

所属する学部・学科・課程・コースが定めた「科目」・「単位数」，「在学期間（修業年限）」を満たせば，卒業が認定されます。詳細は，21ページ以降に記載している学部ごとの「履修単位表」及び「教育課程表」で確認してください。

IV. 共通教育の学び

共通教育の教育課程は、下図に示す科目群，科目区分で構成されています。
それぞれの科目区分ごとに，15ページ以降に記載されている授業科目が開講されます。



1 初年次科目

新入生が，健康で充実した学生生活を送るための知識や能力（ライフ・スキル）を獲得し，大学における効果的な学修方法（スタディ・スキル）を身に付けることを目的としています。高校から大学への導入的役割を担う科目です。

（１）新入生セミナーA，B

大学において自主的・能動的な学修を行う際に必要となる技能の修得や，専門分野の全体像を早い段階で広く理解することを目指す科目です。主に各学部学科の専任教員が担当します。

（２）こころと健康

大学に入学した皆さんが，心身の健康や良好な食習慣・運動習慣のあり方などについて学ぶことにより，健全な学生生活を継続的に送ることを目的とした科目です。

（３）スポーツ

健康と体力の維持・増進を行って心身の調和を図り，また，生涯にわたって健康的で豊かな生活を送るために必要な基礎技術・知識を習得することを目指す科目です。

2 基礎科目

大学における学修全般の支えとなる、基礎知識や基礎的能力を身に付けるための科目です。各学部における専門教育の基盤ともなります。

(1) 英語

共通教育における英語は、高校までに学んできた英語の知識をしっかりと定着させ、専門教育において必要不可欠な英語能力、また、国際的なコミュニケーション能力を有する英語力の習得に重点を置いています。

(2) 数学

高校で学習した数学を基礎として、理系学部における専門科目を学習する際に必要となる「微積分」、「線形代数」等を学ぶための科目です。

(3) 愛媛学

愛媛県における種々の取り組み事例をモデルとして学び、県内・県外にとらわれず「地域の状況や課題を理解する力」を身につけ、「地域を活性化する方策」を考察することを目的とした科目です。

(4) 社会力入門

人生の新しい段階(社会)へと移行する若者の成長を支えるキャリア教育科目です。社会を形成し、維持していくために必要不可欠な資質・能力について学び、生涯を通じた持続的な就業力の育成や豊かな人間形成と人生設計について考えます。

(5) 情報リテラシー入門

コンピュータやネットワークなどの仕組みを理解し、コンピュータを日常の道具として活用するために、情報リテラシー、情報検索、情報表現、情報倫理について学ぶことにより、高度情報化社会に対応する能力を養成します。

(6) 知的財産入門

知的財産の全体概要を理解するとともに、レポートや論文作成時に必要とする知的財産の知識など、身近な事例をテーマにして、概念の理解や初歩的な知的財産対応力を養成します。

3 教養科目

各学問分野の基本的なものの見方や知識を幅広く理解するとともに、主体的な学びを通して汎用的能力を育成し、良識ある社会人として求められる豊かな人間性を養うための科目です。

(1) 主題探究型科目

授業で提示された主題（問い）を基に、受講生が自ら学習課題を設定し、主体的な学習（アクティブ・ラーニング）を行いながら、課題を探究する科目です。能動的な学修の姿勢が求められます。受講生は数十名程度の、中規模のクラスサイズが想定されています。

(2) 学問分野別科目（総合・人文学・社会科学・自然科学）

「総合分野」、「人文学分野」、「社会科学分野」、「自然科学分野」に属する各学問の基本的なものの見方・方法論や知識を理解することを目指します。初めてその学問を学ぶ学生が対象です。なるべく自分の専門領域以外の学問を選択してください。受講生は100～200名程度の、大規模のクラスサイズが想定されています。

(3) 初修外国語

「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「朝鮮語」、「フィリピン語」とこれまで学ぶ機会がほとんどなかった英語以外の外国語を学ぶための科目です。基本的には1年間で同一言語4単位を修得することを目指します。

(4) 高年次教養科目

2年次後学期以降に、学問領域に関する種々の主題を例として、高度な教養を身につけることを目的とした科目です。対面による授業とeラーニングを用いて開講する四国5大学連携共同実施による授業（知プラe科目）の2つの授業形態があり、「文系主題科目」と「理系主題科目」の2つの授業科目があります。

(5) 教員免許に関する科目

「教職日本国憲法」及び「スポーツと教育」の2つの授業科目があります。教育職員免許状の取得を目指す学生以外は履修できません。詳細はP45に記載している履修条件を確認してください。

4 発展科目

本学独自の資格取得を目的とする科目や全学的な副専攻的科目として、開設された科目です。発展科目には、「防災エキスパートに関する科目」、「SUIIサーバント・リーダー養成に関する科目」、「環境ESD指導者養成に関する科目」、「愛媛大学リーダーズ・スクールに関する科目」、「英語プロフェッショナル養成コースに関する科目」、「スキルアップ科目」、「グローバル人材育成に関する科目」があります。

5 留学生対象科目

留学生の皆さんが日本での生活や学習に対応できるように、基礎レベルの日本語、日本の文化や伝統、日本社会の現実等について学びます。

V. 共通教育授業科目表

「共通教育授業科目表」は、共通教育で開講される全ての授業科目を科目区分ごとに示した一覧表です。

【重複履修について】

下記共通教育授業科目表の「重複履修」欄に記載の記号は、それぞれ次の意味を表します。

「×」・・・重複履修ができない科目

「●」・・・重複履修ができ、単位を修得できる科目

「▲」・・・同一科目名でも、担当教員が異なれば、重複履修ができ、単位を修得できる科目

「■」・・・同一科目名でも、担当教員又は授業題目が異なれば、重複履修ができ、単位を修得できる科目

1 初年次科目

授 業 科 目	単位	重複履修	備 考
新入生セミナーA	2	×	
新入生セミナーB	2	×	
こころと健康	2	×	
スポーツ	1	×	

2 基礎科目

(1) 英語

授 業 科 目	単位	重複履修	備考
英語Ⅰ	1	×	
英語Ⅱ	1	×	
英語Ⅲ	1	×	
英語Ⅳ	1	×	

(2) 数学

教育学部

学校教育教員養成課程

中等教育コース数学教育専攻

授 業 科 目	単位	重複履修	備考
線形代数	2	×	
解析学入門	2	×	

理学部

授 業 科 目	単位	重複履修	備考
微積分	2	×	

工学部

授 業 科 目	単位	重複履修	備考
線形代数Ⅰ	2	×	
線形代数Ⅱ	2	×	
微積分Ⅰ	4	×	
微積分Ⅱ	2	×	

農学部

授 業 科 目	単位	重複履修	備考
解析学入門	2	×	

(3) 愛媛学

授 業 科 目	単 位	重複履修	備考
愛媛学	1	×	

(5) 情報リテラシー入門

授 業 科 目	単 位	重複履修	備考
情報リテラシー入門Ⅰ	1	×	
情報リテラシー入門Ⅱ	1	×	

(4) 社会力入門

授 業 科 目	単 位	重複履修	備考
社会力入門	1	×	

(6) 知的財産入門

授 業 科 目	単 位	重複履修	備考
知的財産入門	1	×	

3 教養科目**(1) 主題探究型科目**

区 分	授 業 科 目	単 位	重複履修	備 考
	環境を考える	1	▲	
	倫理と思想を考える	1	▲	
	歴史を考える	1	▲	
	ことばの世界	1	▲	
	芸術の世界	1	▲	
	地域と世界	1	▲	
	社会のしくみを考える	1	▲	
	現代社会の諸問題	1	▲	
	現代と科学技術	1	▲	
	自然のしくみ	1	▲	
	生命の不思議	1	▲	

(2) 学問分野別科目

区 分	授 業 科 目	単 位	重複履修	備 考
総合分野	環境学入門	1	▲	
	人間科学入門	1	▲	
	生活科学入門	1	▲	
人文学分野	哲学入門	1	▲	
	文学入門	1	▲	
	言語学入門	1	▲	
	歴史学入門	1	▲	
	考古学入門	1	▲	
	地理学入門	1	▲	
社会科学分野	法学入門	1	▲	
	政策科学入門	1	▲	
	経済学入門	1	▲	
	社会学入門	1	▲	
	心理学入門	1	▲	
自然科学分野	数学入門	1	▲	
	物理学入門	1	▲	
	化学入門	1	▲	
	生物学入門	1	▲	
	地学入門	1	▲	
	工学入門	1	▲	
	農学入門	1	▲	

(3) 初修外国語

授 業 科 目	単 位	重複履修	備考
初級ドイツ語Ⅰ	1	×	注1
初級ドイツ語Ⅱ	1	×	注1
初級ドイツ語Ⅲ	1	×	注1
初級ドイツ語Ⅳ	1	×	注1
初級フランス語Ⅰ	1	×	注1
初級フランス語Ⅱ	1	×	注1
初級フランス語Ⅲ	1	×	注1
初級フランス語Ⅳ	1	×	注1
初級中国語Ⅰ	1	×	注1
初級中国語Ⅱ	1	×	注1
初級中国語Ⅲ	1	×	注1
初級中国語Ⅳ	1	×	注1

授 業 科 目	単 位	重複履修	備考
初級朝鮮語Ⅰ	1	×	注1
初級朝鮮語Ⅱ	1	×	注1
初級朝鮮語Ⅲ	1	×	注1
初級朝鮮語Ⅳ	1	×	注1
初級フィリピン語Ⅰ	1	×	注1 注2
初級フィリピン語Ⅱ	1	×	注1 注3
初級フィリピン語Ⅲ	1	×	注1 注4
初級フィリピン語Ⅳ	1	×	注1 注5

(4) 高年次教養科目

授 業 科 目	単 位	重複履修	備考
文系主題科目	1	■	
文系主題科目	2	■	
理系主題科目	1	■	
理系主題科目	2	■	

(5) 教員免許に関する科目

授 業 科 目	単 位	重複履修	備考
スポーツと教育	1	×	注6
教職日本国憲法	2	×	注6

4 発展科目

区 分	授 業 科 目	単 位	重複履修	備 考
防災エキスパートに関する科目	環境防災学	2	×	
S U I J I サー バント・リーダー 養成に関する科目	ベーシック国内サービスラーニング	4	×	
	ベーシック海外サービスラーニング	4	×	
	アドバンスド国内サービスラーニング	4	×	
	アドバンスド海外サービスラーニング	4	×	
環 境 E S D 指 導 者 養成に関する科目	S D G s - グローカル未来創成入門	2	×	
	環境 E S D 指導者養成講座 I	4	×	
	環境 E S D 指導者養成講座 II	4	×	
愛媛大学リーダー ズ・スクールに関 する科目	愛媛大学リーダーズ・スクール	2	×	
	ファシリテーションとリーダーシップ	2	×	
	グローバル・リーダーシップ I	1	×	
	グローバル・リーダーシップ II	1	●	
英 語 プ ロ フ ェ ッ ションナル養成コ ースに関する科目	Oral Communication	2	×	
	Speaking & Reading Strategies	2	×	
	Effective Presentations	2	×	
	Writing Workshop	2	×	
	Oral Performance	2	×	
	English For Academic Research	2	×	
	Business English	2	×	
	Discussion Skills	2	×	
	Writing Strategies	2	×	
	Academic Reading	2	×	
	Introductory Interpretation	2	×	
	Introducing Japanese Culture in English	2	×	
	Studying English Abroad I	2	×	
	Studying English Abroad II	2	×	
スキルアップ科目	英語 S 1	2	●	注 7
	英語 S 2	2	●	注 7
	英語 S 3	2	■	注 7
	ドイツ語 S 1	2	●	
	ドイツ語 S 2	2	●	
グローバル人材育成 に関する科目	留学生と日本人学生が共に学ぶ日本企業理解	2	×	
	留学生と日本人学生が共に学ぶ地域ビジネス戦略入門	2	×	
	留学生と日本人学生が共に学ぶ組織開発理論とその実践	2	×	

5 留学生対象科目

区 分	授 業 科 目	単 位	重複履修	備 考
日本語科目	入門日本語 1	1	●	
	入門日本語 2	1	●	
	理系留学生のための日本語リテラシー入門	1	●	
	日本語 A 1	2	●	
	日本語 A 2	2	●	
	日本語 B 1	2	●	
	日本語 B 2	2	●	
	日本語口頭表現 C 1	1	●	
	日本語口頭表現 C 2	1	●	
	日本語読解作文 C 1	1	●	
	日本語読解作文 C 2	1	●	
	日本語口頭表現 D 1	1	●	
	日本語口頭表現 D 2	1	●	
	日本語読解作文 D 1	1	●	
	日本語読解作文 D 2	1	●	
	日本語口頭表現 E 1	1	●	
	日本語口頭表現 E 2	1	●	
	日本語読解作文 E 1	1	●	
	日本語読解作文 E 2	1	●	
	日本語総合 E 1	1	●	
	日本語総合 E 2	1	●	
	日本語漢字 A 1	2	●	
	日本語漢字 A 2	2	●	
	日本語漢字表記 B 1	1	●	
	日本語漢字表記 B 2	1	●	
	日本語漢字語彙 B 1	1	●	
	日本語漢字語彙 B 2	1	●	
	アカデミックジャパニーズ 1	1	×	*
	アカデミックジャパニーズ 2	1	×	*
	アカデミックジャパニーズ 3	1	×	*
	アカデミックジャパニーズ 4	1	×	*
日本事情に関する科目	日本事情 A 1	2	▲	*
	日本事情 A 2	2	▲	*
	日本事情 B 1	2	▲	*
	日本事情 B 2	2	▲	*

* これらの授業科目について次の表の第 1 欄に掲げる単位を修得したときは、各学部の手定めるところにより、第 2 欄に掲げる単位に替えることができます。なお、「日本語科目」と「英語」の単位を合算して 4 単位にすることはできません。

第 1 欄		第 2 欄	
日本語科目	4 単位	英語	4 単位
日本事情に関する科目	8 単位まで	教養科目	8 単位まで

【備 考】

- 注 1. 法文学部人文社会学科（昼間主コース）の学生は履修することができません。
- 注 2. 法文学部人文社会学科（昼間主コース）の専門教育科目「基礎フィリピン語 1」と同時開講される場合があります。
- 注 3. 法文学部人文社会学科（昼間主コース）の専門教育科目「基礎フィリピン語 2」と同時開講される場合があります。
- 注 4. 法文学部人文社会学科（昼間主コース）の専門教育科目「基礎フィリピン語 3」と同時開講される場合があります。
- 注 5. 法文学部人文社会学科（昼間主コース）の専門教育科目「基礎フィリピン語 4」と同時開講される場合があります。
- 注 6. 「スポーツと教育」及び「教職日本国憲法」は、教育職員免許状取得を目指す学生のみ履修可能です。
- 注 7. 「英語 S 1」「英語 S 2」「英語 S 3」は、「英語プロフェッショナル養成コース」対象科目と同時開講される場合があります。

Ⅶ. 学部ごとの履修単位表及び教育課程表

学部・学科・課程・コース別に、それぞれ卒業の要件が定められており、「履修単位表」に、必要な科目や単位数が示されています。「教育課程表」では、その科目の履修時期を表しています。自分が所属する学部・学科・課程・コースの表を十分確認してから履修をしてください。また、「教育課程表」の下にある履修登録にあたっての注意点を必ず読んでください。下図に、「教育課程表」の見方を記載していますので、履修の際の参考にしてください。

「教育課程表」の見方

分野ごとに最低限修得すべき単位数が表示されています。

授業科目の区分等	1 年次				2 年次			
	前学期		後学期		前学期		後学期	
	第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター	第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター
	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位
基礎科目	新入生セミナーA	2						
	新入生セミナーB	2						
	こころと健康	2						
	スポーツ	1		スポーツ	1			
	英語	4		英語Ⅱ	1	英語Ⅳ	1	
	愛媛学	1						
	社会力入門	1			社会力入門	1		
	情報リテラシー入門	1						
	知的財産入門	1						
	主眼探究型科目	4			知的財産入門	1		
総合分野					月2科目	1	火2科目	1
	月4科目	(1)			月1科目	(1)	火1科目	(1)
	木1科目	(1)			火2科目	(1)	金1科目	(1)
教育科目								
発展科目								

学部等で指定された「科目帯」が記載されています。

各学部等で定められた履修についての重要な注意事項が記載されていますので、必ず確認してください。

履修にあたっての注意点

- * 学問分野別科目については、自然科学分野を含めて履修することを推奨します。
- * 教養科目のうち主眼探究型科目4単位を除く11単位は、学問分野別科目、高年次教養科目及び教員免許に関する科目（※履修制限あり）から取得してください。
- * 修得した発展科目の単位は卒業要件には含まれません。

履修単位表

法文学部

科目区分			学科・コース	人文社会学科
				昼間主コース
共通教育科目	初年次科目	新 入 生 セ ミ ナ ー A		2単位
		新 入 生 セ ミ ナ ー B		2単位
		こ こ ろ と 健 康		2単位
		ス ポ ー ツ		1単位
		小 計		7単位
	基礎科目	英 語		4単位
		愛 媛 学		1単位
		社 会 力 入 門		1単位
		情 報 リ テ ラ シ ー 入 門		2単位
		知 的 財 産 入 門		1単位
		小 計		9単位
	教養科目	主 題 探 究 型 科 目		4単位
		学問分野別 科 目	総 合 分 野	11単位
			人 文 学 分 野	
			社 会 学 分 野	
			自 然 学 分 野	
		高年次教養 科 目	文系主題科目	
			理系主題科目	
		教員免許に 関する科目	スポーツと教育	
			教職日本国憲法	
		小 計		15単位
	発 展 科 目			
	計		31単位	
専 門 教 育 科 目				84単位
自 由 選 択				12単位
合 計				127単位

科目区分			学科・コース	人文社会学科	
				夜間主コース	
共通教育科目	初年次科目	新 入 生 セ ミ ナ ー A		2単位	
		新 入 生 セ ミ ナ ー B		2単位	
		こ こ ろ と 健 康		2単位	
		ス ポ ー ツ		1単位	
		小 計		7単位	
	基礎科目	英 語		4単位	
		愛 媛 学		1単位	
		社 会 力 入 門		1単位	
		情 報 リ テ ラ シ ー 入 門		2単位	
		知 的 財 産 入 門		1単位	
		小 計		9単位	
	教養科目	主 題 探 究 型 科 目		4単位	
		学問分野別 科 目	総 合 分 野	11単位	
			人 文 学 分 野		
			社会科学分野		
			自然科学分野		
		初 修 外 国 語		11単位	
		高年次教養 科 目	文系主題科目		
			理系主題科目		
		教員免許に 関する科目	スポーツと教育		
			教職日本国憲法		
		小 計		15単位	
		発 展 科 目			
		計			
専 門 教 育 科 目			76単位		
自 由 選 択			18単位		
合 計			125単位		

(注)・「発展科目」は卒業要件単位数へ算入しない。

- ・昼間主コースにおいては、教養科目のうち主題探究型科目4単位を除く11単位は、学問分野別科目、高年次教養科目及び教員免許に関する科目（※履修制限あり）から取得すること。
- ・夜間主コースにおいては、教養科目のうち主題探究型科目4単位を除く11単位は、学問分野別科目、初修外国語、高年次教養科目及び教員免許に関する科目（※履修制限あり）から取得すること。

法文学部（昼間主コース）

授業科目の区分等	最低履修単位	1 年次						2 年次					
		前学期			後学期			前学期			後学期		
		第1フォーター	第2フォーター	第3フォーター	第4フォーター	第1フォーター	第2フォーター	第1フォーター	第2フォーター	第3フォーター	第4フォーター	第1フォーター	第2フォーター
		授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位
初年次科目		新生セミナーA	2										
		新生セミナーB	2										
		こころと健康	2										
基礎科目		スポーツ	1		スポーツ								
		英語 I	1	英語 II	1	英語 III	1	英語 IV	1				
		愛媛学	1										
		社会力入門	1					社会力入門	1				
		情報リテラシー入門 I	1	情報リテラシー入門 II	1								
		知的財産入門	1		知的財産入門	1							
共通教育科目		主題探究型科目	4		月2科目帯	1	月2科目帯	1	火2科目帯	1	火2科目帯	1	
教養科目	総合分野												
	人間分野												
	社会科学分野												
	自然科学分野												
	文系主題科目											文系主題科目	(1)
	理系主題科目											理系主題科目	(1)
	スポーツと教育											スポーツと教育	(1)
発展科目												教職日本国憲法	(2)

履修にあたっての注意点

- * 学問分野別科目については、自然科学分野を含めて履修することを推奨します。
- * 教養科目のうち主題探究型科目4単位を除く11単位は、学問分野別科目、高年次教養科目及び教員免許に関する科目（※履修制限あり）から取得してください。
- * 修得した発展科目の単位は卒業要件には含まれません。

法文学部（夜間主コース）

授業科目の区分等	最低履修単位	1 年次						2 年次					
		前期			後学期			前期			後学期		
		第1フォーター	第2フォーター	第3フォーター	第4フォーター	第1フォーター	第2フォーター	第3フォーター	第4フォーター	第1フォーター	第2フォーター	第3フォーター	第4フォーター
		授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位
初年次科目		新生セミナーA	2										
		新生セミナーB	2										
		こころと健康	2										
		スポーツ	1										
基礎科目		英語 I	1	英語 II	1	英語 III	1	英語 IV	1				
		愛媛学	1										
		社会力入門	1					社会力入門	1				
		情報リテラシー入門 I	1	情報リテラシー入門 II	1								
共通教育科目		知的財産入門	1			知的財産入門	1						
		主題探究型科目	4			木7科目帯	1	木7科目帯	1	水7科目帯	1		
		学問分野											
		人文分野				火7科目帯	(1)	火7科目帯	(1)	月6科目帯	(1)		
教養科目		社会科学分野	(1)	土1科目帯	(1)	土1科目帯	(1)	土1科目帯	(1)	土1科目帯	(1)		
		自然科学分野											
		初修外国語	11	初級ドイツ語 I 初級フランス語 I 初級中国語 I 初級朝鮮語 I 初級フィリピン語 I	(1)	初級ドイツ語 II 初級フランス語 II 初級中国語 II 初級朝鮮語 II 初級フィリピン語 II	(1)	初級ドイツ語 III 初級フランス語 III 初級中国語 III 初級朝鮮語 III 初級フィリピン語 III	(1)	初級ドイツ語 IV 初級フランス語 IV 初級中国語 IV 初級朝鮮語 IV 初級フィリピン語 IV	(1)		
		文系主題科目										文系主題科目 文系主題科目	(1) (2)
		理系主題科目										理系主題科目 理系主題科目	(1) (2)
		スポーツと教育										スポーツと教育	(1)
		教職日本国憲法										教職日本国憲法	(2)
発展科目													

履修にあたっての注意点

- * 学問分野別科目については、自然科学分野を含めて履修することを推奨します。
- * 「初修外国語」を履修する場合は、前期については I と II、後学期については前期と同じ言語の III と IV をセットで履修してください。
- * 教養科目のうち主題探究型科目 4 単位を除く 11 単位は、学問分野別科目、初修外国語、高年次教養科目及び教員免許に関する科目（※履修制限あり）から取得してください。
- * 教職免許取得希望者は、屋間に開講される教員免許に関する科目の「スポーツと教育」及び「教職日本国憲法」を必ず履修してください。
- * 修得した発展科目の単位は卒業要件には含まれません。

履修単位表

教育学部

課程・コース・専攻 <		
--	--	--

(注)・「発展科目」は、卒業要件上の「自由選択」の単位となる。

・教養科目のうち主題探究型科目4単位及び教員免許に関する科目3単位を除く8単位は、学問分野別科目、初修外国語及び高年次教養科目から取得すること。

授業科目の区分等	最低履修単位	1 年次						2 年次					
		前学期			後学期			前学期			後学期		
		第1フォーター	第2フォーター	第3フォーター	第4フォーター	第1フォーター	第2フォーター	第1フォーター	第2フォーター	第3フォーター	第4フォーター	第1フォーター	第2フォーター
		授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位
初年次科目		新入生セミナーA	2										
		新入生セミナーB	2										
		こころと健康	2										
基礎科目		スポーツ	1		スポーツ		1						
		英語	4	英語 I	1	英語 II	1	英語 III	1	英語 IV	1		
		数学 (中等教育コース 数学教育専攻のみ)	4	線形代数 解析学入門	2 2								
		愛媛学	1		愛媛学	1							
		社会力入門	1							社会力入門	1		
		情報リテラシー入門 I	1	情報リテラシー入門 II	1								
		知的財産入門	1			知的財産入門	1						
共通教育科目		主題探究型科目	4			月2科目帯	1	月2科目帯	1	金2科目帯	1		
		学問分野											
		人文学分野		月4科目帯 木1科目帯	(1) (1)	月1科目帯	(1)			火1科目帯 金1科目帯	(1) (1)		
		社会科学分野											
		自然科学分野											
教養科目		初修外国語	8	初級ドイツ語 I 初級フランス語 I 初級中国語 I 初級朝鮮語 I 初級フィリピン語 I	(1) (1) (1) (1) (1)	初級ドイツ語 II 初級フランス語 II 初級中国語 II 初級朝鮮語 II 初級フィリピン語 II	(1) (1) (1) (1) (1)	初級ドイツ語 III 初級フランス語 III 初級中国語 III 初級朝鮮語 III 初級フィリピン語 III	(1) (1) (1) (1) (1)	初級ドイツ語 IV 初級フランス語 IV 初級中国語 IV 初級朝鮮語 IV 初級フィリピン語 IV	(1) (1) (1) (1) (1)		
		文系主題科目										文系主題科目	(1)
		理系主題科目										理系主題科目	(1)
		スポーツと教育	1									スポーツと教育	1
		教職日本国憲法	2			教職日本国憲法							
発展科目		発展科目											

履修にあたっての注意点

- * 教員免許に関する科目の「スポーツと教育」及び「教職日本国憲法」を必ず履修してください。
- * 中等教育コース数学教育専攻の学生は、数学の「線形代数」及び「解析学入門」を必ず履修してください。
- * 学問分野別科目については、自然科学分野を含めて履修することを推奨します。
- * 「初修外国語」を履修する場合は、前学期については I と II、後学期については前学期と同じ言語の III と IV をセットで履修してください。
- * 教養科目のうち主題探究型科目 4 単位及び教員免許に関する科目 3 単位を除く 8 単位は、学問分野別科目、初修外国語及び高年次教養科目から取得してください。
- * 「発展科目」で修得した単位は、卒業要件上の「自由選択」の単位となります。

履修単位表

社会共創学部

科目区分			学科	産業マネジメント 学科	産業イノベーション 学科	環境デザイン 学科	地域資源マネジメント 学科
共通教育科目	初年次科目	新 入 生 セ ミ ナ ー A		2単位			
		新 入 生 セ ミ ナ ー B		2単位			
		こ こ ろ と 健 康		2単位			
		ス ポ ー ツ		1単位			
		小 計		7単位			
	基礎科目	英 語		4単位			
		愛 媛 学		1単位			
		社 会 力 入 門		1単位			
		情 報 リ テ ラ シ ー 入 門		2単位			
		知 的 財 産 入 門		1単位			
		小 計		9単位			
	教養科目	主 題 探 究 型 科 目		4単位			
		学問分野別 科 目	総 合 分 野	11単位			
			人 文 学 分 野				
			社 会 科 学 分 野				
			自 然 科 学 分 野				
		初 修 外 国 語					
		高年次教養 科 目	文 系 主 題 科 目				
			理 系 主 題 科 目				
		教員免許に 関する科目	ス ポ ー ツ と 教 育				
			教 職 日 本 国 憲 法				
		小 計		15単位			
		発 展 科 目		(注) 参照			
		計		31単位			
専門教育科目	専 門 科 目			93単位			
	合 計			124単位			

(注)・「発展科目」のうち、「英語プロフェッショナル養成コースに関する科目」「愛媛大学リーダーズ・スクールに関する科目」「SUIJIサーバント・リーダー養成に関する科目」で修得した単位は、8単位を上限に専門教育科目の専門科目（自己デザイン科目）の単位とすることができる。

・教養科目のうち主題探究型科目4単位を除く11単位は、学問分野別科目、初修外国語及び高年次教養科目から取得すること。

社会共創学部

授業科目の区分等	最低履修単位	1 年次						2 年次					
		前期			後学期			前期			後学期		
		第1フォーター	第2フォーター	第3フォーター	第4フォーター	第1フォーター	第2フォーター	第3フォーター	第4フォーター	第1フォーター	第2フォーター	第3フォーター	第4フォーター
		授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位
初年次科目		新入生セミナーA	2										
		新入生セミナーB	2	新入生セミナーB	2								
		こころと健康	2										
		スポーツ	1	スポーツ	1								
基礎科目		英語 I	1	英語 II	1	英語 III	1	英語 IV	1				
		愛媛学	1										
		社会力入門	1					社会力入門	1				
		情報リテラシー入門 I	1	情報リテラシー入門 II	1								
		知的財産入門	1			知的財産入門	1						
共通教育科目		主題探究型科目	4			木2科目帯	1	木2科目帯	1	金2科目帯	1	金2科目帯	1
		学問分野											
		人文分野				月1科目帯	(1)	月1科目帯	(1)	火1科目帯	(1)	火1科目帯	(1)
		社会科学分野				木1科目帯	(1)	火2科目帯	(1)	金1科目帯	(1)	金1科目帯	(1)
		自然科学分野											
		初修外国語	11			初級ドイツ語 I 初級フランス語 I 初級中国語 I 初級朝鮮語 I 初級フィリピン語 I	(1)	初級ドイツ語 II 初級フランス語 II 初級中国語 II 初級朝鮮語 II 初級フィリピン語 II	(1)	初級ドイツ語 III 初級フランス語 III 初級中国語 III 初級朝鮮語 III 初級フィリピン語 III	(1)	初級ドイツ語 IV 初級フランス語 IV 初級中国語 IV 初級朝鮮語 IV 初級フィリピン語 IV	(1)
		文系主題科目										文系主題科目 文系主題科目	(1) (2)
		理系主題科目										理系主題科目 理系主題科目	(1) (2)
		スポーツと教育											
		教職日本国憲法											
発展科目													

履修にあたっての注意点

* 「初修外国語」を履修する場合は、前学期についてはⅠとⅡ、後学期については前学期と同じ言語のⅢとⅣをセットで履修してください。

* 教養科目のうち主題探究型科目4単位を除く11単位は、学問分野別科目、初修外国語及び高年次教養科目から取得してください。

* 発展科目のうち、「英語プロフェッショナル養成コースに関する科目」「愛媛大学リダーズ・スクールのに関する科目」「SUJリサーチ・イベント・リーダー養成に関する科目」で修得した単位は、8単位を上限に専門教育科目の専門科目（自己デザイン科目）の単位とすることができます。

履修単位表

理学部

科目区分			学科	理学科	
共通教育科目	初年次科目	新 入 生 セ ミ ナ ー A		2 単位	
		新 入 生 セ ミ ナ ー B		2 単位	
		こ こ ろ と 健 康		2 単位	
		ス ポ ー ツ		1 単位	
		小 計		7 単位	
	基礎科目	英 語		4 単位	
		数 学		微積分 2 単位	
		愛 媛 学		1 単位	
		社 会 力 入 門		1 単位	
		情 報 リ テ ラ シ ー 入 門		2 単位	
		知 的 財 産 入 門		1 単位	
		小 計		11 単位	
	教養科目	主 題 探 究 型 科 目		4 単位	
		学問分野別 科 目	総 合 分 野	11 単位	
			人 文 学 分 野		
			社 会 科 学 分 野		
			自 然 科 学 分 野		
		初 修 外 国 語			11 単位
		高年次教養 科 目	文 系 主 題 科 目		
			理 系 主 題 科 目		
		教員免許に 関する科目	ス ポ ー ツ と 教 育		
			教 職 日 本 国 憲 法		
		小 計			
		発 展 科 目		33 単位	
	計				
専門教育科目	専 門 科 目		91 単位		
	合 計		124 単位		

(注)・「発展科目」は卒業要件単位数へ算入しない。

・教養科目のうち主題探究型科目4単位を除く11単位は、学問分野別科目、初修外国語、高年次教養科目及び教員免許に関する科目（※履修制限あり）から取得すること。

授業科目の区分等	最低履修単位	1 年次						2 年次					
		前学期			後学期			前学期			後学期		
		第1フォーター	第2フォーター	第3フォーター	第4フォーター	第5フォーター	第6フォーター	第1フォーター	第2フォーター	第3フォーター	第4フォーター	第5フォーター	第6フォーター
		授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位
初年次科目		新入生セミナーA	2										
		新入生セミナーB	2	新入生セミナーB	2								
		こころと健康	2										
		スポーツ	1	スポーツ	1								
基礎科目		英語 I	1	英語 II	1	英語 III	1	英語 IV	1				
		数学	2	微積分	2								
		愛媛学	1					愛媛学	1				
		社会力入門	1					社会力入門	1				
		情報リテラシー入門 I	1	情報リテラシー入門 II	1								
共通教育科目		知的財産入門	1			知的財産入門	1						
		主題探究型科目	4			月2科目帯	1	月2科目帯	1	金2科目帯	1		
		学問分野別科目											
		人文学分野	(1)	月4科目帯	(1)	月4科目帯	(1)	月2科目帯	(1)	月2科目帯	(1)		
		社会科学分野	(1)	木2科目帯	(1)	火2科目帯	(1)	火2科目帯	(1)	水1科目帯	(1)		
教養科目		初級ドイツ語 I		初級ドイツ語 II		初級ドイツ語 III		初級ドイツ語 IV					
		初級フランス語 I	(1)	初級フランス語 II	(1)	初級フランス語 III	(1)	初級フランス語 IV	(1)				
		初級中国語 I		初級中国語 II		初級中国語 III		初級中国語 IV					
		初級朝鮮語 I		初級朝鮮語 II		初級朝鮮語 III		初級朝鮮語 IV					
		初級フィリピン語 I		初級フィリピン語 II		初級フィリピン語 III		初級フィリピン語 IV					
発展科目		文系主題科目										文系主題科目	(1)
		理系主題科目										理系主題科目	(1)
		スポーツと教育										スポーツと教育	(1)
		教職日本国憲法										教職日本国憲法	(2)

履修にあたっての注意点

- * 教養科目のうち主題探究型科目 4 単位を除く 11 単位は、学問分野別科目、初修外国語、高年次教養科目及び教員免許に関する科目（※履修制限あり）から取得してください。
- * 学問分野別科目については、人文学分野・社会科学分野を含めて履修し、特定の専門分野に偏ることがないようにバランス良く履修することを推奨します。
- * 「初修外国語」を履修する場合は、前学期については I と II、後学期については前学期と同じ言語の III と IV をセットで履修してください。
- * 修得した発展科目の単位は卒業要件には含まれません。

履修単位表

医学部

科目区分			学科	医学科	看護学科	
共通教育科目	初年次科目	新 入 生 セ ミ ナ ー A		2単位		
		新 入 生 セ ミ ナ ー B		2単位		
		こ こ ろ と 健 康		2単位		
		ス ポ ー ツ		1単位		
		小 計		7単位		
	基礎科目	英 語		4単位		
		愛 媛 学		1単位		
		社 会 力 入 門		1単位		
		情 報 リ テ ラ シ ー 入 門		2単位		
		知 的 財 産 入 門		1単位		
		小 計		9単位		
	教養科目	主 題 探 究 型 科 目		4単位	4単位	
		学問分野別 科 目	総 合 分 野	11単位		11単位
			人 文 学 分 野			
			社 会 科 学 分 野			
			自 然 科 学 分 野			
		初 修 外 国 語				
		高年次教養 科 目	文 系 主 題 科 目			
			理 系 主 題 科 目			
		教員免許に 関する科目	ス ポ ー ツ と 教 育			
教 職 日 本 国 憲 法						
小 計		15単位	15単位			
発 展 科 目						
計		31単位	31単位			
専門教育科目	専 門 基 礎 科 目		18単位	19単位		
	専 門 科 目		153単位	74単位		
合 計			202単位	124単位		

(注)・看護学科で養護教諭一種免許状の取得希望者は、教員免許に関する科目「教職日本国憲法」と「スポーツと教育」を履修すること（保健師免許状を取得後、養護教諭二種免許状の取得を希望する場合も同様）。

・「発展科目」は卒業要件単位数へ算入しない。

・教養科目のうち主題探究型科目4単位を除く11単位は、学問分野別科目、初修外国語、高年次教養科目及び教員免許に関する科目（※履修制限あり）から取得すること。

医学部 医学科

授業科目の区分等	最低履修単位	1 年次						2 年次						3 年次	
		前学期			後学期			前学期			後学期				
		第1フォーター		第2フォーター		第3フォーター		第4フォーター		第1フォーター		第2フォーター		第3フォーター	
		授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位
初年次科目		新生セミナーA	2												
		新生セミナーB	2												
		こころと健康 ※重信開講	2												
		スポーツ	1												
基礎科目		英語 I	1	英語 II	1	英語 III	1	英語 IV	1						
		愛媛学	1			愛媛学	1								
		社会力入門	1					社会力入門	1						
		情報リテラシー入門 I	1	情報リテラシー入門 II	1										
共通教育科目		知的財産入門 ※重信開講	1			知的財産入門 ※重信開講	1								
		主題探究型科目	4					月2科目帯	1						主題探究型科目 ※重信開講
		総合分野													
		人文学分野						月1科目帯	(1)						学問分野別科目
教養科目		社会科学分野						月2科目帯	(1)						学問分野別科目
		自然科学分野						木2科目帯	(1)						学問分野別科目 ※重信開講 (5年次)
		初修外国語	11	初級ドイツ語 I	(1)	初級ドイツ語 II	(1)	初級ドイツ語 III	(1)	初級ドイツ語 IV	(1)				
				初級フランス語 I	(1)	初級フランス語 II	(1)	初級フランス語 III	(1)	初級フランス語 IV	(1)				
発展科目		文系主題科目		初級中国語 I	(1)	初級中国語 II	(1)	初級中国語 III	(1)	初級中国語 IV	(1)			文系主題科目	(1)
		理系主題科目		初級朝鮮語 I	(1)	初級朝鮮語 II	(1)	初級朝鮮語 III	(1)	初級朝鮮語 IV	(1)			理系主題科目	(1)
		スポーツと教育		初級フィリピン語 I	(1)	初級フィリピン語 II	(1)	初級フィリピン語 III	(1)	初級フィリピン語 IV	(1)			理系主題科目	(2)
		国際教育の発展に貢献する科目													
		教職日本国憲法													
		発展科目													

履修にあたっての注意点

- * 専門分野以外の科目を広く履修することを推奨します。
- * 学問分野別科目については、人文学分野及び社会科学分野を含めて履修することを推奨します。
- * 「初修外国語」を履修する場合は、前学期については I と II、後学期については前学期と同じ言語の III と IV をセットで履修してください。
- * 教養科目のうち主題探究型科目 4 単位を除く 11 単位は、学問分野別科目、初修外国語及び高年次教養科目から取得してください。なお、重信キャンパスで開講される科目は必ず履修してください。
- * 修得した発展科目の単位は卒業要件には含まれません。

医学部 看護学科

授業科目の区分等	最低履修単位	1 年次						2 年次					
		前学期			後学期			前学期			後学期		
		第1フォーター	第2フォーター	第3フォーター	第4フォーター	第1フォーター	第2フォーター	第1フォーター	第2フォーター	第3フォーター	第4フォーター	第1フォーター	第2フォーター
		授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位
初年次科目		新入生セミナーA	2										
		新入生セミナーB	2										
		こころと健康 ※重信開講	2										
		スポーツ	1										
基礎科目		英語 I	1	英語 II	1	英語 III	1	英語 IV	1				
		愛媛学						愛媛学	1				
		社会力入門						社会力入門	1				
		情報リテラシー入門I	1	情報リテラシー入門II	1								
		知的財産入門 ※重信開講				知的財産入門 ※重信開講	1						
		月2科目帯				月2科目帯	1						
		木2科目帯				木2科目帯	1						
共通教育科目													
総合分野		月1科目帯	(1)	月4科目帯	(1)	月4科目帯	(1)	木1科目帯	(1)				
人文学分野		月4科目帯	(1)	月4科目帯	(1)	木1科目帯	(1)	学問分野別科目 ※重信開講	(1)				
社会科学分野		木2科目帯	(1)	木2科目帯	(1)	学問分野別科目 ※重信開講	(1)						
自然科学分野													
初修外国語	11	初級ドイツ語 I	(1)	初級ドイツ語 II	(1)	初級ドイツ語 III	(1)	初級ドイツ語 IV	(1)				
		初級フランス語 I	(1)	初級フランス語 II	(1)	初級フランス語 III	(1)	初級フランス語 IV	(1)				
		初級中国語 I		初級中国語 II		初級中国語 III		初級中国語 IV					
		初級朝鮮語 I		初級朝鮮語 II		初級朝鮮語 III		初級朝鮮語 IV					
		初級フィリピン語 I		初級フィリピン語 II		初級フィリピン語 III		初級フィリピン語 IV					
文系主題科目												文系主題科目	(1)
理系主題科目												理系主題科目	(1)
スポーツと教育						スポーツと教育	(1)					理系主題科目	(2)
教職日本国憲法						教職日本国憲法	(2)						
発展科目													

履修にあたっての注意点

- * 学問分野別科目については、人文分野及び社会科学分野を含めて履修することを推奨します。
- * 「初修外国語」を履修する場合は、前学期についてはⅠとⅡ、後学期については前学期と同じ言語のⅢとⅣをセットで履修してください。
- * 教養科目のうち主題探究型科目4単位を除く11単位は、学問分野別科目、初修外国語、高年次教養科目及び教員免許に関する科目（※履修制限あり）から取得してください。なお、重信キャンパスで開講される科目は必ず履修してください。
- * 養護教諭一種免許状の取得希望者は、教員免許に関する科目「教職日本国憲法」と「スポーツと教育」を必ず履修してください。（保健師免許状を取得後、養護教諭二種免許状の取得を希望する場合も同様です。）
- * 修得した発展科目の単位は卒業要件には含まれません。

履修単位表

工学部

科目区分			学科	工学科	
共通教育科目	初年次科目	新 入 生 セ ミ ナ ー A		2単位	
		新 入 生 セ ミ ナ ー B		2単位	
		こ こ ろ と 健 康		2単位	
		ス ポ ー ツ		1単位	
		小 計		7単位	
	基礎科目	英 語		4単位	
		数 学		線形代数Ⅰ 2単位 線形代数Ⅱ 2単位 微積分Ⅰ 4単位 微積分Ⅱ 2単位	
		愛 媛 学		1単位	
		社 会 力 入 門		1単位	
		情 報 リ テ ラ シ ー 入 門		2単位	
		知 的 財 産 入 門		1単位	
		小 計		19単位	
	教養科目	主 題 探 究 型 科 目		4単位	
		学問分野別 科 目	総 合 分 野	11単位	
			人 文 学 分 野		
			社 会 科 学 分 野		
			自 然 科 学 分 野		
		初 修 外 国 語			
		高年次教養 科 目	文 系 主 題 科 目		
			理 系 主 題 科 目		
		教員免許に 関する科目	ス ポ ー ツ と 教 育		
			教 職 日 本 国 憲 法		
		小 計			15単位
		発 展 科 目			
	計		41単位		
専門教育科目	工 学 共 通 基 礎 科 目		16単位		
	専 門 入 門 科 目		10単位		
	専 門 基 礎 科 目・専 門 応 用 科 目		57単位		
合 計			124単位		

(注)・学問分野別科目の「工学入門」及び「発展科目」は卒業要件単位数へ算入しない。

・教養科目のうち主題探究型科目4単位を除く11単位は、学問分野別科目、初修外国語、高年次教養科目及び教員免許に関する科目（※履修制限あり）から取得すること。

履修にあたっての注意点

* 教養科目のうち主題探究型科目4単位を除く11単位は、学問分野別科目、初修外国語、高年次教養科目及び教員免許に関する科目（※履修制限あり）から取得してください。

*学問分野別科目については、人文学分野及び社会科学分野を含めて履修することを推奨します。

※発展科目のうち「環境防災学」の単位は社会基盤工学コースと社会デザインコースの専門教育科目の専門基礎科目の単位として含めることができます。

履修単位表

農学部

科目区分			学科	食料生産学科	生命機能学科	生物環境学科
共通教育科目	初年次科目	新 入 生 セ ミ ナ ー A		2単位		
		新 入 生 セ ミ ナ ー B		2単位		
		こ こ ろ と 健 康		2単位		
		ス ポ ー ツ		1単位		
		小 計		7単位		
	基礎科目	英 語		4単位		
		数 学		解析学入門 2単位		
		愛 媛 学		1単位		
		社 会 力 入 門		1単位		
		情 報 リ テ ラ シ ー 入 門		2単位		
		知 的 財 産 入 門		1単位		
		小 計		11単位		
	教養科目	主 題 探 究 型 科 目		4単位		
		学問分野別 科 目	総 合 分 野	11単位*		
			人 文 学 分 野			
			社 会 科 学 分 野			
			自 然 科 学 分 野			
		初 修 外 国 語		11単位*		
		高年次教養 科 目	文 系 主 題 科 目			
			理 系 主 題 科 目			
		教員免許に 関する科目	ス ポ ー ツ と 教 育			
			教 職 日 本 国 憲 法			
		小 計		15単位		
		発 展 科 目		(注) 参照		
	計		33単位			
専門教育科目	専 門 科 目		96単位			
合 計		129単位				

(注)・教養科目のうち主題探究型科目4単位を除く11単位は、学問分野別科目、初修外国語、高年次教養科目及び教員免許に関する科目（※履修制限あり）から取得すること。

・「発展科目」のうち、「SUIJIサーバント・リーダー養成に関する科目」で修得した単位は、4単位を上限に「教養科目」で必要とされる*の単位に充てることができる。

授業科目の区分等	最低履修単位	1 年次						2 年次					
		前学期			後学期			前学期			後学期		
		第1フォーター		第2フォーター		第3フォーター		第4フォーター		第1フォーター		第2フォーター	
		授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位
初年次科目		新生セミナーA	2										
		新生セミナーB		新生セミナーB	2								
		こころと健康		こころと健康	2								
		スポーツ		スポーツ	1								
基礎科目		英語 I	1	英語 II	1	英語 III	1	英語 IV	1				
		数学		解析学入門	2								
		愛媛学		愛媛学	1								
		社会力入門						社会力入門	1				
		情報リテラシー入門 I	1	情報リテラシー入門 II	1								
		知的財産入門				知的財産入門	1						
		主題探究型科目				木2科目帯	1	木2科目帯	1	金2科目帯	1		
共通教育科目													
学間分野別科目		月4科目帯	(1)	木1科目帯	(1)	月4科目帯	(1)	月4科目帯	(1)				
		木1科目帯	(1)			火2科目帯	(1)	火2科目帯	(1)	金1科目帯	(1)		
						木1科目帯	(1)	木1科目帯	(1)				
教養科目	11※	初級ドイツ語 I		初級ドイツ語 II		初級ドイツ語 III		初級ドイツ語 IV					
		初級フランス語 I	(1)	初級フランス語 II	(1)	初級フランス語 III	(1)	初級フランス語 IV	(1)				
		初級中国語 I		初級中国語 II		初級中国語 III		初級中国語 IV					
		初級朝鮮語 I		初級朝鮮語 II		初級朝鮮語 III		初級朝鮮語 IV					
		初級フィリピン語 I		初級フィリピン語 II		初級フィリピン語 III		初級フィリピン語 IV					
第1次教養科目												文系主題科目	(1)
第2次教養科目												文系主題科目	(2)
第3次教養科目												理系主題科目	(1)
第4次教養科目												理系主題科目	(2)
発展科目						スポーツと教育	(1)						
						教職日本国憲法	(2)						

履修にあたっての注意点

- * 学問分野別科目については、人文学分野及び社会科学分野を含めて履修することを推奨します。
- * 農学部では「初修外国語」の履修を勧めています。英語以外の外国語を学ぶことは、考え方や視野を広げるためにとっても重要です。
- * 「初修外国語」を履修する場合は、前学期についてはⅠとⅡ、後学期については前学期と同じ言語のⅢとⅣをセットで履修してください。
- * 教養科目のうち主題探究型科目4単位を除く11単位は、学問分野別科目、初修外国語、高年次教養科目及び教員免許に関する科目（※履修制限あり）から取得してください。
- * 発展科目のうち、「SUUIサーパーバント・リーダー養成に関する科目」で修得した単位は、4単位を上限に「教養科目」で必要とされる※の単位に充てることができるものとします。

Ⅶ. 履修登録手続等

共通教育科目を履修するためには、履修しなければならない科目、履修したい科目を登録することが必要です。履修登録は、各学期の授業開始前に、修学支援システムから行ってください。履修に際しては、様々なルールがあります。以下の説明をよく読んで自分の責任で学習目的に沿った授業科目を選択してください。

1 履修登録の方法

履修登録は各自が修学支援システムで行います。

■URL <http://info.ehime-u.ac.jp/syugaku/stu/>

※愛媛大学ホームページからのアクセス方法

愛媛大学ホームページ>大学生活>修学支援システム

(修学支援システムトップページには「修学支援システム利用のてびき」が掲載されていますので、参照してください。)

2 履修登録の時期

履修登録は、毎学期行います。履修登録の時期は、修学支援システム及び掲示板等でお知らせします。

3 履修登録の手順

(1) 共通教育科目の履修登録に必要なものを確認します。

- Webシステム用のアカウント及びパスワード (入学時に大学から配付)
- 共通教育履修案内
- 共通教育科目授業時間割表 (法文学部夜間主コースは法文学部授業時間割表)
- その他【英語科目クラス分け一覧】【初修外国語一覧】

(2) 時間割表で自分に該当する学部・学科等の指定された科目を確認します。

※「シラバス」を熟読し (P40参照)、履修する科目を選択してください。

(3) パソコンから修学支援システムにアクセスし、選択した科目を登録します。

※履修のルール (P41参照) にしたがって登録してください。

(4) 履修登録期間終了後、定員が超過した「主題探究型科目」、「学問分野別科目」、「初修外国語」、「高年次教養科目」は修学支援システムの抽選機能を用いて抽選が行われます。必ず抽選結果を確認し、抽選漏れした場合は履修登録修正期間中に他の科目を再登録してください。

4 時間割表の見方

(1) 共通教育科目授業時間割表の見方

共通教育科目授業時間割表は、「教育課程表」に対応しています。

曜日	時限	法文	教育	社会共創	理
月	1	1Q			情報リテラシー入門Ⅰ
		2Q			情報リテラシー入門Ⅱ (1～140) (141～)
	2	1Q	解析学入門	英語Ⅰ	
		2Q		英語Ⅱ	
	3	1Q	線形代数		
		2Q			
	4	1Q	愛媛学 学問分野別科目 (月4科目帯)	愛媛学	学問分野別科目(月4科目帯) 数学入門(微積分入門)
		2Q	愛媛学 学問分野別科目 (月4科目帯)		学問分野別科目 (月4科目帯)

1

2

3

4

1Q

A0503 環境学入門 山田容三 共A35	A0538 物理学入門 水口 隆 共A45
--------------------------------	--------------------------------

2Q

B0503 環境学入門 山田容三 共A35	B0538 物理学入門 水口 隆 共A45
--------------------------------	--------------------------------

1 学生証番号

() 内の数字は、学生証番号の中の個人番号を記載しています。

学生証番号とは学生個人を表す番号で、学生証に8桁で表されています。出席カード、レポート、試験の答案など、重要な書類の提出の際に必要となりますので、学生証は常に携帯し、学生証番号も間違いのないように記憶しておいてください。

学生証番号の構成は次のとおりです。

【法文学部人文社会学科昼間主1番の学生の場合】

入学年度 (西暦下1桁)	学部コード (1桁)	学科・課程コード (2桁)	個人番号 (3桁)	チェックデジット (アルファベット1字)
0	1	1 1	0 0 1	A

【学部、学科・課程コード表】

学 部	学 部 コード	学 科 ・ 課 程	学 科 ・ 課 程 コード	学 部	学 部 コード	学 科 ・ 課 程	学 科 ・ 課 程 コード
法 文 学 部 (昼 間 主)	1	人文社会学科	1 1	理 学 部	3	理学科	2 0
法 文 学 部 (夜 間 主)	1	人文社会学科	5 1	医 学 部	4	医学科	0 1
教 育 学 部	2	学校教育教員養成課程	3 0	工 学 部	5	工学科	0 6
社 会 共 創 学 部	0	産業マネジメント学科	0 1	農 学 部	6	食料生産学科	1 1
		産業イノベーション学科	0 2			生命機能学科	1 2
		環境デザイン学科	0 3			生物環境学科	1 3
		地域資源マネジメント学科	0 4				

2 科目帯

共通教育科目授業時間割表では、1年次と2年次前学期(工学部は2年次と3年次前学期)は、科目帯で授業科目の受講対象者を指定しています。例えば、第2フォーターの月曜日4時限目の学問分野別科目の場合、法文学部の学生は履修できますが、教育学部の学生は履修できません。2年次後学期以降(工学部は3年次後学期以降)は、どの科目帯でも、自由に履修することができます。

3 科目番号

5桁～6桁の数字が科目番号です。授業科目を登録する際に使用します。

4 教室

授業の開講される教室を省略した名称で表示しています。

(2) 法文学部授業時間割表の見方（法文学部夜間主コースのみ該当）

法文学部授業時間割表は、「教育課程表」に対応しています。

共通教育科目（夜間主コース）

【前期】

区 分		時間 割 番 号	科 目 名	担当 教 員	単 位 数	受 講 生 区 分	曜 日	時 限	教 室	備 考
初 年 次 科 目	こころと健康	10151	こころと健康	野本 ひさ	2	1	火	7	共B 201	
	ス ポ ー ツ	10171	ス ポ ー ツ	市河 勉	1	1	月	7	共A 24	
		10172	ス ポ ー ツ	福田 隆	1	1	月	7	共A 24	
基 礎 科 目	英 語	10282	コミュニケーション英語 A	三浦 優生	2	※	火	6	共B 202	再履修用 ※2015以前入学生
	え ひ め 学	10351	え ひ め 学	坂本世津夫	2	※	集中	集中		再履修用 ※2015入学生

【1Q】

区 分			時間 割 番 号	科 目 名	担 当 教 員	単 位 数	受 講 生 区 分	曜 日	時 限	教 室	備 考	
基礎 科目	英 語	A0260	英 語 I	スコット ウェバー	1	1	火・木	6	M23			
		A0261	英 語 I	クリスティン アーミテージ	1	1	火・木	6	M24			
		A0262	英 語 I	中井 富紀	1	1	火・木	6	M32			
		A0273	英 語 I	マクドウェイン・スタフォード	1	2	火・木	6	M33	再履修用 ※2016以降入学生		
	愛媛学 情報リテラシー入門	A0353	愛 媛 学	阿部 光伸	1	1	月	6	共 B 201			
		A0369	情報リテラシー入門 I	二神 透	1	1	金	7	情演2・3			
教 養 科 目	主題探究型科目		A0423	現 代 と 科 学 技 術	奥島 鉄雄	1	2	水	7	共 B 302		
			A0430	生 命 の 不 思 議	賀屋 秀隆	1	2	水	7	共 B 304		
	学問分野別 科目	人文学分野	A0514	文 学 入 門	柳 光子	1	1	土	1	総教大講		
			A0518	地 理 学 入 門	兼子 純	1	1	土	1	共 B 201		
		自然科学分野	A0540	物 理 学 入 門	黄木 景二	1	2	月	6	総教大講		
	初修外国語		A06031	初 級 ド イ ツ 語 I	田島 篤史	1	1	水	6	M24		
			A06032		ライネルト ルドルフ			金	6	M24		
			A06131	初 級 フ ラ ン ス 語 I	モヴェ・エリック	1	1	水	6	共北41		
			A06132		田和 勇希			金	6	共 B 304		
			A06251	初 級 中 国 語 I	宮田さつき	1	1	水	6	M32		
			A06252		陳 暁華			金	6	M32		
			A06341	初 級 朝 鮮 語 I	崔 昌玉	1	1	水	6	M23		
			A06342					金	6	M23		
			A06411	初 級 フ ィ リ ピ ノ 語 I	菅谷 成子	1	1	火	5	総教語演		
			A06412					金	5	総教語演		

1 時間割番号

5桁～6桁の数字が時間割番号です。授業科目を登録する際に使用します。

2 受講生区分

受講できる学年を表示しています。

3 教室

授業の開講される教室を省略した名称で表示しています。

5 シラバスの見方

シラバスは修学支援システムの「シラバス検索」メニューで閲覧することができます。

※愛媛大学ホームページからのアクセス方法

愛媛大学ホームページ>大学生活>シラバス検索

開講年度	開講年度を記載しています。	開講学期	開講学期を記載しています。
開講学部等	開講学部等を記載しています。	授業科目区分	授業科目区分名を記載しています。
科目ナンバリング	科目ナンバリング（P11参照）を記載しています。	時間割番号	時間割番号を記載しています。
対象学生	受講対象の学部、学科、コース、学年等を記載しています。	対象年次	受講対象の年次を記載しています。
科目名【英文名】	授業科目名を記載しています。	単位数	単位数を記載しています。
担当教員【ローマ字表記】	授業を担当する教員名を記載しています。		

授業題目

授業の題目を記載しています。

授業のキーワード

授業の中で必要と思われる単語等を記載しています。

授業の目的

授業を受講することによって修得できる学習成果を、目的として記載しています。

授業の到達目標

授業を学んだ結果、何ができるようになるかを到達目標として記載しています。

ディプロマ・ポリシー（卒業時の到達目標）／共通教育の理念・教育方針に関わる項目

共通教育の理念と教育方針の項目のうち、授業の到達目標に対応する項目を記載しています。

愛媛大学学生として期待される能力（愛大学生コンピテンシー）に関わる項目

愛大学生コンピテンシー（P6参照）の項目のうち、期待される能力に対応する項目を記載しています。

授業概要

授業で扱う内容を大まかに記載しています。

授業スケジュール

各回の授業で扱う授業内容を記載しています。

授業時間外学習にかかわる情報

授業時間外の予習、復習や課題について記載しています。

成績評価方法

評価の基準及び方法、試験の実施方法を記載しています。

受講条件

受講の前提として、履修する必要がある科目や学習しておいた方が望ましい内容を記載しています。

受講のルール

資料配付及び課題提出のルール、受講上の注意事項等を記載しています。

教科書（購入の必要のある図書）

授業や授業時間外学習で使用する、購入する必要がある図書を記載しています。

参考書（購入する必要はないが、推奨する図書）

授業や授業時間外学習の参考になる図書を記載しています。

教科書・参考書に関する補足情報

教科書、参考書の使用法、教科書を使わない場合の教材情報、その他学習に役立つ資料の情報を記載しています。

オフィスアワー

担当教員が授業科目に関する質問・相談等に応じている時間帯を記載しています。

Eメールアドレス

担当教員のEメールアドレスを記載しています。

連絡先

担当教員の研究室や連絡先を記載しています。

参照ホームページ

学習に効果的な情報、担当教員・研究室等に関する情報が掲載されているホームページのURLを記載しています。

その他

受講に対するメッセージや注意事項等を記載しています。

6 履修のルール

(1) 履修上の注意事項

① 重複履修の禁止

一度履修して単位を修得した授業科目を、再度履修することはできません。ただし、一部の授業科目では、重複履修が認められています。詳細は、「V. 共通教育授業科目表」(P15～19)の「重複履修」の記号で確認してください。

② 夜間開講科目の履修禁止

法文学部夜間主コース以外の学生は、夜間開講の共通教育授業科目を履修することはできません。

③ 法文学部夜間主コースの昼間開講科目履修制限

夜間主コースの学生は、昼間開講の共通教育科目の一部を履修することができます。

a. 初年次科目・教養科目

履修できるのは、**1学期に4単位まで、卒業までに8単位を上限とします。**
(集中講義で開講される科目も含みます。)

1) 履修できる科目は、次のとおりです。

- i) 集中講義で開講される初年次科目の「スポーツ」
- ii) 教養科目の「主題探究型科目」
- iii) 教養科目の「学問分野別科目」
- iv) 教養科目の「初修外国語」
- v) 教養科目の「高年次教養科目」(ただし知プラe科目は、上記の単位制限に含まない。)
- vi) 教養科目の「教員免許に関する科目」

2) 修得した単位は、次のとおり取り扱います。

- i) 上記1) - iの単位は初年次科目「スポーツ」の卒業要件単位に充てることができます。
- ii) 上記1) - iiの単位は「主題探究型科目」又は「自由選択」の卒業要件単位に充てることができます。
- iii) 上記1) - iiiの単位は「学問分野別科目」又は「自由選択」の卒業要件単位に充てることができます。
- iv) 上記1) - ivの単位は「初修外国語」又は「自由選択」の卒業要件単位に充てることができます。
- v) 上記1) - vの単位は「高年次教養科目」又は「自由選択」の卒業要件単位に充てることができます。
- vi) 上記1) - viの単位は「教員免許に関する科目」又は「自由選択」の卒業要件単位に充てることができます。
- vii) 上記1)の科目を共通教育科目の卒業要件単位に充てる場合は、「卒業要件単位として認められる昼間開講の30単位」には含まれません。
- viii) 上記1)の科目を「自由選択」の卒業要件単位に充てる場合は、「卒業要件単位として認められる昼間開講の30単位」に含まれます。

b. 発展科目

履修できる単位数に制限はありません。ただし、修得した単位は、卒業要件単位として認められません。

(2) 初年次科目

① 「新入生セミナーA」及び「新入生セミナーB」

各学部で実施されるため、共通教育科目授業時間割表には記載されていません。各学部の専門教育の授業時間割表に記載されていますので、確認の上、履修登録をしてください。

② スポーツ

必修科目として、1年次に開講します。

基礎的体力づくりとともに、クラス別に「ソフトバレーボール、サッカー、ダンス、テニス、バドミントン」等の種目が開講されます。

第1回目の授業で、受講に関するガイダンスと種目分け・クラスの決定を行います。授業時間割表で指定された教室に集合してください。第1回目の授業終了後、クラス分けの結果に従い、指示された期間に修学支援システムで履修登録してください。

前学期夏季休業中に集中授業形式で、水泳が随時開講されます。学期始めに、共通教育掲示板に詳細を掲示しますので、履修を希望する学生は見落とさないように注意してください。

また、健康等の理由で一般種目を受講することが困難な学生に対して、「スポーツ」の1種目として「リハビリテーションコース」という授業を開講します。自分の該当する学部・学科等の「スポーツ」のガイダンスの際に、本コースの受講を申し出てください。本コースを受講するかどうか判断に迷う学生は、事前に共通教育チームに相談してください。

(3) 基礎科目

① 英 語

授業科目名	単位数	開講	授業科目の概要
英語Ⅰ	1	第1 クォーター	英語を使って情報を入手し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度と能力を身につけます。特に、自分の考えを明瞭、かつ、簡潔に英語で表現し、会話や議論に積極的に参加できるようになることを目指します。
英語Ⅱ	1	第2 クォーター	英語を使って情報を入手し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度と能力を身につけます。特に、様々な状況で耳にする英語による情報を、正しく把握し、適切に対応できる能力を身につけることを目指します。
英語Ⅲ	1	第3 クォーター	英語を使って情報を入手し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度と能力を身につけます。特に、英語の文章を作成する上での基本的な知識や技能を身につけ、自分の考えを明瞭、かつ、論理的に、英語で書き表すことができるようになることを目指します。
英語Ⅳ	1	第4 クォーター	英語を使って情報を入手し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度と能力を身につけます。特に、様々なジャンルやスタイルの英文を素早く、かつ、正確に読むための基本的な知識や技能を身につけ、適切に対応できるようになることを目指します。

- それぞれの科目は受講できるクラスが指定されていますので、「修学支援システム」または「掲示」で確認してから履修してください。
- 第1クォーターと第4クォーターに、英語統一試験（GTEC Academic）を実施しますので、必ず受験してください。第4クォーターの試験の成績は、「英語Ⅳ」の成績評価に含まれます。また、280点以上のスコアを取得した場合は、外部試験による成績判定を申請することができます。
- 「英語」の授業は出席についてのルールが特に厳しく決められています。
 - ・毎回出席することを原則とします。 4回欠席→単位修得不可
 - ・原則として遅刻は認めません。 3回遅刻→1回の欠席、30分以上遅刻→1回の欠席

外部試験による成績判定制度

外部試験による成績（資格）が基準に達している場合は、成績判定を申請することができます。（下表を参照してください。）成績判定を希望する場合は、学期開始前に所定の手続を行う必要があります。学期途中での申請はできません。手続方法は「共通教育英語関係掲示板及び英語教育センター事務室前の掲示板（愛大ミュージズ2階）」に掲示でお知らせします。

【外部試験の成績等基準及び判定科目】

対象外部試験の成績等基準		判 定		
成績 レベル	成績等	最大判定 単位数	判定科目	成績評価
I	GTEC Academic 280 ～ 309点	1 単位	英語Ⅱ（1年次第2クォーター） 又は 英語Ⅳ（1年次第4クォーター）	80点 （優）
	TOEIC L&R 470 ～ 599点			
	TOEFL 460 ～ 504点			
	TOEFL ibt 48 ～ 61点			
II	GTEC Academic 310点以上	2 単位	英語Ⅱ（1年次第2クォーター） 英語Ⅳ（1年次第4クォーター）	90点 （秀）
	TOEIC L&R 600点以上			
	TOEFL 505点以上			
	TOEFL ibt 62点以上			
	英検準1級以上			

備考：＊外部試験とは次のとおりです。

GTEC Academic：Global Test of English Communication Academic

TOEIC L&R：Test of English for International Communication Listening & Reading Test

TOEFL：Test of English as a Foreign Language（成績はペーパー版テスト）

TOEFL ibt：同上のインターネット版テスト

英 検：実用英語技能検定試験

令和2年度の成績判定申請期間は、下記のとおりです。

前学期：4月6日(月)～4月10日(金) 9:00～17:00

後学期：7月27日(月)～7月31日(金) 9:00～17:00

受付場所：英語教育センター事務室（愛大ミュージズ2階）

② 数 学

理系の学部・学科・コース等での専門教育を学ぶために必要とされる数学の科目が開講されます。

同じ授業科目名でも自分が所属する学部・学科・コース等以外の授業科目を履修することはできません。

(4) 教養科目

教育上の効果や円滑な授業運営を図るため、受講生数の上限を原則として主題探究型科目と初修外国語は数十人程度、学問分野別科目は100～200人程度としています。また、高年次教養科目の一部も5～50人に制限されています。履修登録者数が上限を超えた場合、修学支援システムの抽選機能を用いて抽選が行われます。必ず抽選結果を確認し、抽選漏れした場合は履修登録修正期間中に他の科目を再登録してください。

① 主題探究型科目

- 1) 1年次の後学期(第3クォーター・第4クォーター)及び2年次の前学期(第1クォーター・第2クォーター)に開講されます。(工学部は2年次の後学期及び3年次の前学期に開講されます。)それぞれ決められた科目帯の中から履修登録してください。
- 2) 2年次(工学部は3年次)第3クォーター以降は科目帯に拘わらず自由に履修できます。
- 3) 科目名が同じでも担当教員が異なれば重複履修ができます。

② 学問分野別科目

- 1) 「総合分野」・「人文学分野」・「社会科学分野」・「自然科学分野」に関連する授業科目が開講されます。
1年次の前・後学期(第1クォーター～第4クォーター)及び2年次の前学期(第1クォーター・第2クォーター)に開講されます。(工学部は2年次の前・後学期及び3年次の前学期に開講されます。)それぞれ決められた科目帯の中から履修登録してください。
- 2) 2年次(工学部は3年次)第3クォーター以降は科目帯に拘わらず自由に履修できます。
- 3) 科目名が同じでも担当教員が異なれば重複履修ができます。
- 4) 数学の補完教育(リメディアル教育)として、教育学部(数学教育専攻)、理学部、工学部、農学部を対象に学問分野別科目「数学入門」(授業題目「初級微積分」または「微積分入門」)を開講します。「数学力テスト」の結果等により受講対象者となった学生は履修してください。

③ 初修外国語

- 1) 初修外国語は、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「朝鮮語」、「フィリピン語」の言語ごとに、第1クォーターから第4クォーターまで、それぞれⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ(例:「初級ドイツ語Ⅰ」～「初級ドイツ語Ⅳ」)の授業科目が、毎週2回ずつ開講され、1年次(工学部は3年次)から履修できます。
- 2) 初修外国語は、同一言語を前学期・後学期を継続して受講することを前提に、1年間通して開講されます。前学期(第1クォーター・第2クォーター)についてはⅠとⅡの授業科目を、後学期(第3クォーター・第4クォーター)についてはⅢとⅣの授業科目をセットで履修してください。
- 3) 初修外国語に含まれるいずれかの言語を母語とする者は、当該外国語を履修することができません。

④ 高年次教養科目

2年次第3クォーター以降履修できます。ただし、例外的に、夏季休業中に集中講義として開講される科目については、2年次第2クォーターから履修できます。

⑤ 教員免許に関する科目

教育職員免許状の取得を希望する学生以外は履修できません。教育免許に関する科目の履修条件は次のとおりです。

【法文学部・理学部・医学部看護学科・工学部・農学部】

「教職日本国憲法」の履修条件

- ①「教職履修ガイダンス」に出席していること
- ②「教職基礎論」を修得済み（農学部1回生は履修中）であること

「スポーツと教育」の履修条件

- ①「教職履修ガイダンス」に出席していること
- ②「教職基礎論」を修得済み（農学部1回生は履修中）であること
- ③「スポーツ」を修得済みであること

(注)

※工学部で「工業」の高等学校教諭一種免許状の取得を希望する者、及び医学部で養護教諭二種免許状の取得を希望する者については、「教職履修意思確認書」の提出を②の代替条件とすることができます。

※第Ⅰ期リフレクション・デイに参加し、教職課程学習ポートフォリオ（リフレクション・ログを含む）を提出していることを②の代替条件とすることができます。

【教育学部】

「スポーツと教育」の履修条件

- ・「スポーツ」を修得済みであること
- ※「教職日本国憲法」に履修条件はありません。

※「教職履修ガイダンス」は前学期中に開催予定です。詳細は教職教育チームにお問い合わせください。

(5) 発展科目

① 防災エキスパートに関する科目

「環境防災学」

防災士の取得を前提とした講義であり、防災士（ぼうさいし）とは、特定非営利活動法人日本防災士機構による民間資格です。本講義は、防災士機構の認定に基づく講義であり、災害に関する一般的知識の習得と、松山消防局職員による救命講習の実技からなります。講義で補うことができない内容については、レポート課題として補完します。本講義単位取得者は、日本防災士機構の資格試験に合格すれば、防災士の資格を取得することができます。

② SUIJIサーバント・リーダー養成に関する科目

グローバルな視野を持ちながら、地域に立脚し、未来社会の持続的発展に貢献できる国際的なサーバント・リーダーの育成を目的としています。所定科目の単位を修得し、修了要件を満たした学生には、SUIJIコンソーシアム^{*}より、SUIJIサービスラーニング・プログラムコースの修了証が授与されます。

SUIJIコンソーシアム^{*}

SUIJIはSix-University Initiative Japan Indonesiaの略。SUIJIコンソーシアムは、愛媛大、香川大、高知大、ガジャマダ大、ボゴール農業大、ハサヌディン大の6大学からなるコンソーシアム。

1) 修了認定

SUIJIサービスラーニング・プログラムコースの修了認定を受けるためには、所定の科目を修得する必要があります。次の表にしたがって、計画的に履修してください。

なお、履修を希望する学生は、毎学期初めに開催されるガイダンスに出席することが必要です。

SUIJIサーバント・リーダー養成 に関する科目	単位	1 回生以上		2 回生以上	
		前	後	前	後
S D G s - グローカル未来創成入門 ※	2	○			
ベーシック国内サービスラーニング	4	○			
ベーシック海外サービスラーニング	4		○		
アドバンスド国内サービスラーニング	4			○	
アドバンスド海外サービスラーニング	4				○
合 計	18				

※「環境 E S D 指導者養成に関する科目」で開講される科目です。

2) カリキュラム

「SDGs－グローバル未来創成入門」

国連SDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献できる「地球規模の視野で考え、地域からの視点で行動できる」グローバルな視野を持ち合わせた市民となることを目指し、国内外地域の課題をSDGsに関連づけて理解し、課題解決につながる行動と持続可能な未来社会をイメージする方法について学ぶ。

「ベーシック国内サービスラーニング」

四国の農山漁村で、日本・インドネシア6大学の学生と約2週間ともに滞在し、地域が直面する課題と未来可能性を掘り下げ、サーバント・リーダーとしての基礎力を養う。

「ベーシック海外サービスラーニング」

インドネシアの農山漁村で、日本・インドネシア6大学の学生と約2週間ともに滞在し、地域が直面する課題と未来可能性を掘り下げ、サーバント・リーダーとしての基礎力を養う。

「アドバンスド国内サービスラーニング」

四国の農山漁村で、日本・インドネシア6大学の学生と約2週間ともに滞在し、地域の課題解決をめざした活動を協働で計画・実施しながら、サーバント・リーダーとしての実践力を養う。

「アドバンスド海外サービスラーニング」

インドネシアの農山漁村で、日本・インドネシア6大学の学生と約2週間ともに滞在し、地域の課題解決をめざした活動を協働で計画・実施しながら、サーバント・リーダーとしての実践力を養う。

③ 環境ESD指導者養成に関する科目

国連SDGs（SDGs：Sustainable Development Goals）の達成を目指して、持続可能な社会づくりのための教育（ESD：Education for Sustainable Development）を担うことのできる環境ESD指導者の育成を目的としています。

本コースでは、国連SDGs（持続可能な開発目標）と地域規模の環境・経済・社会問題について学ぶほか、フィールド調査や公開講座の企画・開催を行います。

所定の単位を修得し、修了要件を満たした学生には、環境ESD指導者養成コースの修了認定証を授与します。

1) 修了認定

環境ESD指導者養成コースの修了認定を受けるためには、所定の科目を修得する必要があります。次の表にしたがって、計画的に履修してください。

なお、履修を希望する学生は、毎学期初めに開催されるガイダンスに出席することが必要です。

環境 E S D指導者養成コース 修了認定科目	単位	1 回生以上		2 回生以上	
		前	後	前	後
S D G s－グローバル未来創成入門	2	○			
環境 E S D指導者養成講座Ⅰ	4		○		
環境 E S D指導者養成講座Ⅱ	4			○	
合 計	10				

2) カリキュラム

「SDGs－グローバル未来創成入門」

国連SDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献できる「地球規模の視野で考え、地域からの視点で行動できる」グローバルな視野を持ち合わせた市民となることを目指し、国内外地域の課題をSDGsに関連づけて理解し、課題解決につながる行動と持続可能な未来社会をイメージする方法について学ぶ。

「環境ESD指導者養成講座Ⅰ」

持続可能な社会づくりに主体的に参画することを目標に、現代の地域社会が抱えている自然、社会文化、経済、人権の諸問題について実体験をとおして学ぶ。瀬戸内の山～里～海と人とのつながりを意識した体験をしながら、問題の背景を科学的に分析するための手段を学ぶ。

「環境ESD指導者養成講座Ⅱ」

環境ESD活動の企画、実施、評価の手法について、必要な知識を学んだうえで実践を通して体得し、自ら企画した環境ESD講座を実施する。環境ESD活動を安全に実施するために関連法規と医療・救急救命技術を含む安全対策について学ぶ。

④ 愛媛大学リーダーズ・スクール（ELS）に関する科目

本プログラムは、学生リーダーや将来リーダーになり得る学生を支援・教育することで、

1. 所属組織（授業やゼミ、サークル活動、ボランティア活動、大学行事など）の様々な問題を解決できるようになり、その経験を通して人間的に成長することができる
2. 他の学生を率いて、大学や所属組織等を活性化させることができる
3. 卒業後も企業や官公庁等の組織、地域のコミュニティなどにおいてリーダーシップを発揮することで、社会に貢献することができる

学生を育成することを目的としています。本プログラムでは、授業で得た知識・スキルを実際の学生プロジェクトにおいて実践し、その行動を振り返ることによってさらなる成長を促す、という体系的で継続的な学生リーダー養成プログラムを構築している点をその特徴としています。

1) 資格認定

本プログラムでは、授業を含めた以下の要件を満たすことによって、愛媛大学公認の資格「愛媛大学リーダーズ・ライセンス」を取得することができます。

1. 授業科目「愛媛大学リーダーズ・スクール」の履修（必修）
2. 授業科目「ファシリテーションとリーダーシップ」の履修（必修）
3. ELS関連科目の履修（選択）
4. ELS／西日本学生リーダーズ・スクール（UNGL）プロジェクト等のリーダー経験
5. その他ELS授業内でアナウンスする学内外のセミナー・研修等の受講

2) カリキュラム

愛媛大学リーダーズ・ライセンスを取得するためには所定の科目を修得する必要があります。次の表にしたがって、計画的に履修してください。

授業科目		単位	1 回生～4 回生	
			前期	後期
必修	愛媛大学リーダーズ・スクール	2	集中	
	ファシリテーションとリーダーシップ	2		集中
選択	グローバル・リーダーシップⅠ	1	集中	
	グローバル・リーダーシップⅡ	1		集中
	その他の E L S 選択科目（共通教育科目）	1～2	随時履修	

i) 愛媛大学リーダーズ・スクール（E L S）

20名定員の少人数教育を行います。グループワーク中心の授業の中で、自己理解・他者理解を深めるアクティビティを行ったり、自らのリーダーシップのスタイルの分析を試みたりします。さらに、自らが必要だと感じるリーダーとしての素養をテーマとして、他の受講生を対象としたセミナーを一人ずつ行うことによって、自分の考えを深く掘り下げる力（論理的思考力）、自分の考えを相手に分かりやすく伝える力（プレゼンテーション力）、相手を批評する力（クリティカル・シンキング力）等を養っていきます。また、授業で学んだリーダーシップに関係するスキルやマインドを1泊2日の合宿研修での実践を通してさらに深く考えていきます。

ii) ファシリテーションとリーダーシップ（E F L）

上述 E L S で学ぶリーダーシップの知識を基礎に、より実践的・応用的な内容を扱います。なかでも、グループでの討議を活発にし、集団での意思決定を促進し、他者との協働を促して組織の目標達成に貢献するファシリテーション能力の養成を目的とします。ゲストスピーカーによる講義やグループワーク、ディスカッション、ディベート等を通して理論ほかについて学ぶと共に、地域で活躍する社会人や企業と共にプロジェクトを立ち上げ、そこでの実践を通じて社会に求められるファシリテーション能力やリーダーシップに関する学びを深めます。

iii) E L S 選択科目

E L S 選択科目とは、授業題目「グローバル・リーダーシップⅠ」、「グローバル・リーダーシップⅡ」及び、共通教育科目のうち「教養科目」として開講される科目の中から、毎学期設定されるものです（「倫理と思想を考える；ライフマネジメントとセルフ・リーダーシップ」、「現代社会の諸問題；リーダーシップの理論と実践」等）。科目の詳細については、学期ごとに履修希望者に通知します。

⑤ 英語プロフェッショナル養成コースに関する科目

英語を活用して、国際社会や地域社会で活躍できる人材の育成を目標としたコースです。対象は、2年次以上の全学の学生であり、コースの定員は30名という少人数です。1年次の必修英語で身につけた知識・技能を基盤とし、より発展的、かつ体系的な内容を兼ね備えた教育プログラムを提供することにより、現代社会で即戦力となる英語運用能力を持った学生の育成を目指します。

1) コースの特徴

- i) 英語運用能力判断基準（Can-Doリスト）の設定と実践的授業の提供
将来の仕事や研究で必要になる英語力を詳細に分析し、それを伸ばすための実践的な授業を提供します。
- ii) ネイティブ・スピーカー教員を中心とした少人数授業
大量の英語をインプット、アウトプットする活動を通じて、高度な英語運用能力を育成します。
- iii) 豊富な選択科目
4種類の必修科目に加え、学生のニーズに応じた9種類以上の選択科目を用意します。
- iv) 学習成果を定期的に検証
各年度末にTOEICを受験することにより、学習成果を定期的に診断・評価するとともに、次年度に向けた学習計画の立案を支援します。
- v) メンター制の導入
学生一人一人の英語学習計画・能力育成及び学習相談等について、メンター（教員）がサポートします。
- vi) 授業外学習スペースの設置
愛大ミューズ2階の多文化交流ゾーンに「学生チャットルーム」、「学生自習室」を設置しています。約2500冊の多読用英語図書、英語関係の各種雑誌や新聞、多彩なCD、DVDなどを完備しています。英会話レッスンなどを含む英語学習の機会と場を提供しています。

2) コースの履修

コースに登録するためには、1年次に受験する英語統一試験（GTEC Academic）で原則として250点以上、あるいは他の英語試験で同等以上の成績を有する必要があります。2年次の前学期授業開始時までにはコース登録を済ませることになります。（原則として、それ以降の申込みはできません。）申請期間は、掲示等でお知らせします。詳細については、英語教育センター事務室（P72参照）にお問い合わせください。

コースを修了するには、必修4科目（計8単位）、選択4科目（計8単位）、合計8科目（計16単位）の授業を履修する必要があります。コース修了者には、「**愛媛大学英語プロフェッショナル養成コース修了認定証**」を授与します。

必修・選択	授業科目名	単位数	修得すべき単位数
必修科目	Oral Communication	2	8
	Speaking & Reading Strategies	2	
	Effective Presentations	2	
	Writing Workshop	2	
選択科目	Academic Reading	2	8
	Writing Strategies	2	
	Discussion Skills	2	
	English For Academic Research	2	
	Business English	2	
	Introducing Japanese Culture in English	2	
	Oral Performance	2	
	Introductory Interpretation	2	
	Studying English Abroad I	2	
	Studying English Abroad II	2	
		計	16

⑥ スキルアップ科目

スキルアップ科目とは、基礎的な科目を習得した後、さらに経験を積みたい、また、高度な内容を学び知識を深めたい、継続して学びたい場合に履修できる発展的な科目です。

授業科目名	単位	開講時期	授業科目の概要
英語 S 1	2	夏季集中	海外での短期語学研修に参加した学生に対して、研修先より発行された修了証等を確認し、単位を認定する授業です。なお、事前・事後指導の受講が義務づけられており、それらを適切に受講していない場合は、単位認定は行われません。
英語 S 2	2	春季集中	
英語 S 3	2	前・後学期	英語のスピーキング・リスニング・ライティング・リーディングの技能間の連携を意識した学習を通して、高度な英語コミュニケーション力の習得を目指す授業です。通訳入門、ビジネス英語、アカデミックリーディング、ライティングストラテジー、ディスカッションなど様々なテーマの授業を開講します。主に2年次以上を対象としています。詳細については英語教育センター事務室へお問い合わせください。

⑦ グローカル人材育成に関する科目

以下の科目は、「愛媛の大学と企業が育てる高度外国人材育成プログラム」の一環として、実施するものです。留学生と日本人学生が協働して課題解決に取り組む中で、多文化集団に特徴的な障壁や効果について体感し、将来的にグローバルな環境における多様な集団の中で活躍し続けるために必要な能力を高めることをねらいとしています。

* 集中講義で実施しますので、開催時期等については、「留学生就職促進プログラム推進室」（愛媛大学ミューズ2階 #237、電話番号089-927-8309）へお問い合わせください。
なお、履修を希望する学生は毎学期初めに開催されるガイダンスに出席することが必要です。

科目区分	授業科目名	単位数	対象年次
グローバル人材育成に関する科目	留学生と日本人学生が共に学ぶ日本企業理解	2単位	1年生～
	留学生と日本人学生が共に学ぶ地域ビジネス戦略入門	2単位	1年生～
	留学生と日本人学生が共に学ぶ組織開発理論とその実践	2単位	1年生～

(6) 留学生対象科目

外国人留学生（大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学した外国人留学生）及び外国人留学生以外の学生で外国において相当の期間、中等教育（中学校又は高等学校で受ける教育に相当する）を受けた学生（帰国子女）のうち、所属する学部で履修を許可された学生に対して、次のような授業科目を開設しています。これらの授業科目には履修上の特例が定められています。詳しくは各学部の指示に従って履修してください。

区分	授業科目	単位	履修年次（単位）					
			1 年次				2 年次	
			前学期		後学期		前学期	後学期
			第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター		
日本語科目	アカデミックジャパニーズ1	1	1					
	アカデミックジャパニーズ2	1		1				
	アカデミックジャパニーズ3	1			1			
	アカデミックジャパニーズ4	1				1		
日本事情に関する科目	日本事情 A 1	2	2					
	日本事情 A 2	2						2
	日本事情 B 1	2	2					
	日本事情 B 2	2						2

上記の他、留学生と日本人学生が共に学ぶ「グローバル人材育成に関する科目」を開講しています。詳しくは52ページ（5）発展科目⑦へ。

(7) 教育職員免許状を取得する場合に必要な科目

教育職員免許状の取得に必要な共通教育科目は下表のとおりです。

「教職日本国憲法」と「スポーツと教育」は必修科目ではないので、漏れのないように単位を修得してください。

開講される年次・学期等については「教育課程表」で確認してください。

教育職員免許法施行規則に定める科目	左記に対応する共通教育科目	科目区分
日本国憲法（2単位）	教職日本国憲法（2単位）	教養科目
体育（2単位）	スポーツ（1単位）	初年次科目
	スポーツと教育（1単位）	教養科目
外国語コミュニケーション（2単位）	英語Ⅰ（1単位）	基礎科目
	英語Ⅱ（1単位）	
	英語Ⅲ（1単位）	
情報機器の操作（2単位）	情報リテラシー入門Ⅰ（1単位）	基礎科目
	情報リテラシー入門Ⅱ（1単位）	

(8)「愛媛県内就職・定住促進」教育プログラムに関する科目

愛媛大学で学んだ学生が、将来愛媛県内に就職し定住することを促す教育プログラムです。

愛媛県についての基礎知識や素晴らしい県内企業の紹介など、愛媛県をよく知り、将来の生活設計を考えるプログラムです。将来の就職のために県内就職希望者のみならず、キャリア形成のために5単位以上履修することを勧めます。

このプログラムの「授業科目名」及び「修得が望ましい単位数」は次表のとおりです。

科目区分		授業科目名	修得が望ましい 単位数
共通教育科目	基礎科目	社会力入門（１単位）	１単位
		愛媛学（１単位）	１単位
	高年次 教養科目	文系主題科目（１単位） 「新聞から学ぶ情報収集・伝達の方法」	左記の科目から ３単位以上
		文系主題科目（１単位） 「地域企業の再発見」	
		文系主題科目（２単位） 「ヒトはなぜ働くのか」	
		文系主題科目（１単位） 「協同組合とは何かー協同組合論」	
		その他の指定科目（１単位 随時開講）	
		その他の指定科目（２単位 随時開講）	
	発展科目	環境防災学（２単位）	
専門教育科目		キャリア形成セミナーに関する科目（１単位）	
		キャリア形成セミナーに関する科目（２単位）	
		インターンシップ（１単位）	
		インターンシップ（２単位）	
計		５単位以上	

(9) 海外で実施する科目

集中講義で実施しますので、開講時期及び担当教員等については、共通教育チームの窓口へ問い合わせてください。

- 発展科目 SUIJIサーバント・リーダー養成に関する科目の一部の授業科目
- 発展科目 愛媛大学リーダーズ・スクールに関する科目の一部の授業科目
- 発展科目 英語プロフェッショナル養成コースに関する科目の一部の授業科目
- 発展科目 スキルアップ科目の一部の授業科目

Ⅳ. 受講上の注意事項

授業を受ける際に知っておかなければならないことを説明します。知らないばかりに授業を受けられなかったり、必要な連絡ができなかったり、学生生活上に必要な支援が得られなかったり、さまざまな不都合が生じることになります。受講上の基本的な注意事項については、特に確認しておきましょう。

1 授業に関する連絡

共通教育授業に関するいろいろな連絡は、次の方法で行われます。定期的に、必ず確認をしてください。

(1) 修学支援システム

シラバス、休講・補講、落し物、行事予定、メッセージ、その他の大事なお知らせ情報が掲載されます。

■URL <http://info.ehime-u.ac.jp/syugaku/stu/>

○愛大生の修学を支援する様々な機能

修学に関する諸手続きがWEB上で行えます。修学支援システムで利用できる機能は次のとおりです。

メニュー名	処理内容
履修登録	履修登録が行えます。リアルタイムで履修登録が行われるので履修確認の手間が省かれます。
履修時間割表	履修登録した時間割を閲覧できます。PDFでの出力もできます。
学修ポートフォリオ	入学から卒業までの学修について、記録することができます。PDFでの出力もできます。
各種ポートフォリオ	履修した授業や、学習活動の学習記録を作成することができます。
定期試験	履修科目の定期試験情報を閲覧できます。
成績照会	修得科目の成績、GPAを閲覧できます。
学籍情報照会	本人の学籍情報、異動履歴、宿所情報、保証人情報、免許資格情報が閲覧できます。また、宿所情報、保証人情報は編集することもできます。免許・資格の申請もこのメニューで行います。
健康診断結果	健康診断結果を閲覧できます。
シラバス検索	シラバスを検索し、閲覧することができます。
メッセージ確認	履修している授業の休講・補講情報、講義連絡等のほか、個人あてメッセージの確認ができます。一部のメッセージに対しては返信することもできます。
落し物	落し物情報を閲覧できます。
年間行事予定	自学部の年間行事予定を閲覧できます。
アンケート回答	本人が対象となっているアンケートに回答できます。
アンケート集計結果	公開されたアンケートの集計結果が閲覧できます。
学内FAQ	学生何でも相談を閲覧できます。
証明書発行機パスワード設定	証明書発行機のパスワードを設定できます。
メール転送設定	自分あてに届く大学からのメッセージ情報などを、指定するアドレスに転送することができます。
進路・就職情報	本人の進路に関する情報を登録するほか、就職活動を記録したり、後輩のために、就活体験記を登録できます。
先輩の就活体験記	先輩が登録した就活体験記を検索し、参照することができます。
就職に関するお知らせ情報	求人情報や、インターンシップ情報等、就職に関するお知らせを参照することができます。

(2) 共通教育掲示板

共通教育の集中講義関係、その他の授業に関するお知らせ情報が掲示されますので、定期的に確認してください。

共通教育掲示板設置場所：学生サービスステーション北出入口前

(3) 電子掲示板

「休講／補講情報」「拾得物のお知らせ」「お知らせ情報」が掲示されます。

設置場所 図書館 正面玄関
大学会館 カウンター横
総合情報メディアセンター 正面玄関
愛大ミューズ 正面玄関



(4) 共通教育センターホームページ

共通教育に関わる内容を掲載しています。

■共通教育センターホームページ <http://web.iec.ehime-u.ac.jp/>

(5) 英語教育センターホームページ

英語教育に関わる内容を掲載しています。

■英語教育センターホームページ <http://web.eec.ehime-u.ac.jp/>

2 授業の実施場所等

(1) 教室

共通教育の授業は、主に、次の教室（建物）で行われます。（P73～77参照）

- ・愛大ミューズ ……………M21PC室, M22 (CALL), M23～M33,
M演習室1～M演習室3, A L S (2)
- ・グリーンホール ……………GH
- ・共通講義棟A ……………共A11～共A53
- ・共通教育棟北別館 ……………共北41, マルチゾーン型教室 (共北42)
- ・総合情報メディアセンター ……第1～第6演習室, メディア演習室

夜間開講の授業は、主に法文学部の教室で開講されます。（法文学部授業時間割表に配置図があります。）

(2) 教室変更

授業科目ごとに確定した受講者数にとめない、授業開始前後に教室を変更することがあります。教室の変更については、修学支援システム及び共通教育掲示板で確認してください。

3 休講・補講

(1) 通常の休講・補講

授業担当教員が、出張又は病気等の理由で担当する授業を休講する場合、また、休講授業の補講をする場合は、「修学支援システム」、「電子掲示板」で通知しますので、毎日掲示を見るようにしてください。

(2) 気象等に関する特別警報又は台風に伴う暴風警報が発表された場合の授業の取扱いについて

松山市又は東温市のいずれかに特別警報（高潮及び波浪を除く。）又は台風に伴う暴風警報（以下「特別警報等」という。）が発表された場合の愛媛大学（附属学校園を除く。）における授業（休業期間中の集中講義を含む。以下同じ。）の取扱いは、下記のとおりとします。

- ① 昼間に開講する授業については、当日午前7時に特別警報等が発表されている場合又は午前7時から午前の授業開始までに特別警報等が発表された場合は、午前の授業を休講とします。また、午前11時に特別警報等が発表されている場合又は午前11時から午後の授業開始までに特別警報等が発表された場合は、午後の授業を休講とします。
- ② 夜間に開講する授業については、午後4時に特別警報等が発表されている場合又は午後4時から夜間の授業開始までに特別警報等が発表された場合は、全ての授業を休講とします。
- ③ 授業開始後に特別警報等が発表された場合は、当該授業時間帯（午前、午後又は夜間）における次の時限以降の授業を休講とします。ただし、特別警報（高潮及び波浪を除く。）が発表された場合は、直ちに授業を取りやめることとします。

4 授業の欠席

病気、怪我、忌引き等のやむを得ない理由で授業を欠席する場合は、友人等に依頼し、授業担当教員へ欠席理由を伝えてもらうか、後日、無断欠席でなかったことを授業担当教員に申し出るようにしてください。

なお、以下の場合は正当な理由による授業欠席として認められる場合がありますので、共通教育チームへ申し出てください。

- (1) 学校保健安全法施行規則に定める感染症に感染した場合
- (2) 学生の親族が死亡した場合
- (3) 自然災害に遭い授業欠席がやむを得ないと認められる場合
- (4) 教育実習に参加した場合
- (5) 博物館実習に参加した場合
- (6) 介護等体験に参加した場合
- (7) 授業として行うインターンシップに参加した場合
- (8) 本学が大学として開催に関わる大会に参加した場合
- (9) 本学が要請した用務に参加した場合
- (10) 当該学部又は教育・学生支援機構が認めた場合

5 試験及び成績

(1) 試験

試験については、担当教員の指示に従ってください。

(2) 試験等における受験上の注意

- ① 受験に際しては、「学生証」を必ず持参し、試験時間中は机の上に置いてください。
- ② 「学生証」を所持していない場合は、共通教育チームで「仮学生証」の交付を受けてください。「仮学生証」は当日中に共通教育チームに返却してください。夜間開講科目の場合は、法文学部夜間主コース専用窓口で対応します。
- ③ 「学生証」又は「仮学生証」のどちらも所持していない者は、試験を受けることができません。

(3) 不正行為

試験の際に不正行為を行った者は、「愛媛大学学業成績判定に関する規程」により、当該学期の全学業成績を判定しないという処置がとられます。また、「愛媛大学学生懲戒処分規程」により無期停学の懲戒処分を受けます。

(4) レポートの提出

① レポートの作成

「科目番号、授業科目名、担当教員名、学科、回生、学生証番号、氏名」をレポートの表紙にわかりやすく記入してください。レポートが複数枚の場合は、ステープラー（ホッチキス）で留めて提出してください。

レポート・論文の中で他人の意見を引用する場合は、引用がわかる表示が必要です。表示をしない場合は、盗作とみなされます。

〔参考〕

レポート作成上で、守るべき事項（ガイドライン）

- ① 書籍・雑誌等から他者（先輩や同級生も含む。）の文章を引用する場合は、該当箇所を明確にした上で、必ず出典を明示すること。これには、インターネット上の文章から引用する場合も含まれる。
- ② 他者が執筆した文献や書籍・雑誌を参考にした場合は、文献名などを明示すること。但し、論旨に直接関連しない場合には、明示の必要はない。
- ③ 他者のデータ等を利用する場合は、該当箇所を明確にした上で、出典等を明示すること。
- ④ 他者との共同による学習成果を利用する際には、その旨を明記すること。
- ⑤ 他者のレポート等をそのまま写して提出すること、他者に依頼し作成したレポートを提出すること、あるいは複数科目において同一内容のレポートを提出することは、言うまでもなく絶対に行ってはならない行為である。また、自己の学習成果を盗用目的の他者に供与することも厳に慎むべき行為である。

② レポートの提出期限、提出場所

- a. 提出方法については、担当教員の指示に従ってください。
- b. 指示された提出期限を超えると、受理されませんので注意してください。
- c. 提出場所が「学生サービスステーション」または「共通教育レポートボックス」と指示された場合は、学生サービスステーション北出入口横の「レポートボックス」に提出してください。ただし、夜間開講の共通教育科目については、法文学部夜間主コース専用窓口のドアを入れてすぐの「レポートボックス」に提出してください。

(5) 追試験

次に掲げる事情で、定められた期日に受験できなかった場合、追試験を受けることができる場合があります。

- ① P59 4 授業の欠席（1）～（10）の理由
- ② その他共通教育センター長が必要と認めたもの

なお、追試験を受けようとする者は、当該科目の試験終了後すみやかに当該授業担当教員の承認を得て、共通教育チームへ「共通教育科目追試験願」及び「その事情を証明できる書類等」を提出してください。

(6) 成績の通知

成績は、修学支援システムにより、確認できます。

(7) 成績確認申立

学業成績が通知された後にその成績判定について疑義が生じ確認する必要がある場合は、通知後、原則として1週間以内に当該授業担当教員に成績の確認を申し立てることができます。

6 授業改善のためのアンケート

本学では、授業担当教員が学生とともに授業をより良いものへ改善することを目的として「授業アンケート」を実施しています。アンケートの結果は、授業担当教員に提供され、授業内容や授業方法の改善のための貴重なデータになります。共通教育センターでは、開講される全ての開講科目に対して、各クォーター（各学期）の授業の終了時期にアンケートを実施しますので、ご協力をお願いします。アンケートの集計結果は、共通教育センターホームページに掲載されます。

Ⅸ. 学びのサポート

1 教科書

(1) 購入方法

毎学期の始め、愛媛大学生協ショップ前の特設会場で販売されます。夜間開講科目の教科書については、夜間の時間帯に法文学部講義棟においても販売されます。使用する教科書はシラバスで事前に確認をしてください。

(2) 活用方法

大学における教科書は、単に授業時間内だけに利用されるものではありません。1つの授業で伝えるべき内容は数多くあり、授業時間内に伝えることのできる範囲は限られています。授業で理解できないことや、疑問点を解消するために予習することが、授業を受講するのと同様に大切なことです。自習用のテキストとしても大いに活用してください。

2 大学内での自主的な学習

(1) 図書館を利用する

図書の貸出、閲覧をはじめ、図書館は皆さんが必要とする情報を収集できる場です。

- 図書館の詳細については、ホームページで確認してください。

<http://www.lib.ehime-u.ac.jp/>

場 所：図書館（P73参照）

(2) 総合情報メディアセンターを利用する

「情報リテラシー入門」の授業で使用される総合情報メディアセンターの各演習室に備え付けのコンピュータは自主学習用としても利用することができます。なお、備え付けのコンピュータを利用するためには、アカウント（利用者ID）とパスワードが必要になります。履修登録時に発行されるアカウント及びパスワードを使用してください。

また、コンピュータはプリンタとも接続されていて、生協電子マネー（アイパ）を利用して、レポートの印刷や、課外活動に必要な書類の印刷ができます。

- 総合情報メディアセンターの詳細については、ホームページで確認してください。

<http://www.cite.ehime-u.ac.jp/index.php>

場 所：総合情報メディアセンター（P73参照）

(3) 愛大ミューズ内のパソコン室を利用する

M21PC室を授業で使用していない時間に利用することができます。利用する際には、学生証で入口のロックを解除して入室してください。

利用時間：月～金 8:30～18:00

場 所：愛大ミューズ2階（P76参照）

(4) 愛大ミューズ内のラウンジを利用する

「スカイラウンジ・ノース」は、授業時間外学習促進のための自主学習に利用したり、授業などでグループに与えられた課題を取り組む場として、広く利用できるスペースです。利用にあたっては、注意事項を守り、お互いが気持ちよく使えるように心がけてください。

利用時間：月～金 8:30～21:00

場 所：愛大ミューズ3階（P77参照）

3 学習支援

皆さんの学習の支援を行うために、愛媛大学では次のような制度や施設を設けています。学習を進めるにあたって、積極的に活用してください。

(1) オフィスアワーを活用する

オフィスアワーとは、授業科目に関する学生の質問・相談等に応じるための時間として、教員が研究室に在室している時間帯のことです。この時間帯であれば、学生は基本的に予約なしで研究室を訪問できます。授業担当教員のオフィスアワーはシラバスで確認することができます。また、ホームページにはオフィスアワーを学部ごとに一覧で掲載しています。

愛媛大学ホームページ>大学生活>オフィスアワー（教員への相談）

(2) ティーチング・アシスタント（TA）を活用する

ティーチング・アシスタントとは、授業の教育効果を高めるために、主に実験、実習、演習等の授業中に教育補助業務を行う、愛媛大学大学院生のことです。皆さんの身近な指導者として業務を行っていますので、授業の疑問点などを積極的に質問してください。

(3) スチューデント・アシスタント（SA）を活用する

スチューデント・アシスタントとは、授業の教育効果を高めるために、主にスポーツ、情報リテラシー入門の授業中に教育補助業務を行う、愛媛大学学部学生のことです。皆さんの身近な指導者として業務を行っていますので、授業の疑問点などを積極的に質問してください。

(4) スタディ・ヘルプ・デスク（SHD）を利用する

スタディ・ヘルプ・デスクとは、大学院生による学生のための学習支援スペースのことです。共通講義棟A 1階に設置されていて、大学院生のアドバイザーが、共通教育科目を中心に個別指導を行うほか、学習方法や大学での生活などについてもアドバイスを行っています。授業の内容が十分理解できないときや、試験準備やレポートなどの課題で困ったときは、ぜひ利用してください。

利用時間：月～金曜日 第3時限（12：40）～第5時限（17：50）

各科目や担当アドバイザーの時間帯の情報は、パンフレットまたはスタディ・ヘルプ・デスクに掲示する時間割表で確認してください。

場 所：共通講義棟A 1階西側

対応科目：英語、数学、物理学、化学、生物学、その他（学習方法）

利用方法：上記利用時間内であればいつでも利用可能です。予約の必要はありません。

4 自主的な英語学習

授業以外で、英語の学習を自主的に行いたい方のために、愛大ミューズ「多文化交流ゾーン」に次のような施設・学習ソフトが用意されています。

●学生自習室	●学生チャットルーム
利用時間：平日 9:00 - 17:00	
場 所：愛大ミューズ2階 多文化交流ゾーン	

●学生自習室を利用する

学生自習室は、学生のみなさんが自由に英語を学習できる部屋です。部屋には、英字新聞、洋書、参考書、試験問題集、DVD等を整備しているほか、PCやDSiなども利用できます。

また、簡単なストーリーから無理なく読める多読シリーズの本の貸出しもしています。利用するには、図書カードが別途必要です。詳しいことは、英語教育センター事務室までお問い合わせください。

●学生チャットルームを利用する

英会話を楽しんだり、英語ニュースを聞いたり、実際に声に出し、音を聞いて英語を学習できます。英語のプレゼンテーションや英会話レッスン、英語勉強会なども実施しています。

◎詳しい情報は、英語教育センターホームページで確認してください。

<http://web.eec.ehime-u.ac.jp/>

5 履修に関する質問

(1) 共通教育チームを利用する

共通教育チームは、授業や試験に関する連絡を行ったり、履修の相談に応じる窓口です。そのほか、レポート提出や共通教育科目の受講に必要な事務手続きなどを行っています。

利用時間：授業開講期間中 8:15 ~ 18:00

休業中 8:30 ~ 17:00

場 所：学生サービスステーション（P72参照）

(2) 法文学部夜間主コース専用窓口を利用する

夜間開講の授業や試験に関する連絡を行ったり、履修の相談に応じる窓口です。

利用時間：平日 17:15 ~ 21:30

土 10:15 ~ 18:45

場 所：学生サービスステーション（P72参照）

(3) 英語教育センター事務室を利用する

英語教育センター事務室は、英語の授業や施設に関する相談や問い合わせに応じる窓口です。

利用時間：授業開講期間中 8:30 ~ 18:00

休業中 8:30 ~ 17:00

場 所：愛大ミューズ2階（P72、76参照）

(4) ピア@カフェを利用する

学生ボランティアのピアサポーターが、履修方法だけでなく、学生生活、課外活動、就職、友人関係、進学など、皆さんの多種多様な疑問・不安・悩みの相談に対応しています。相談内容によっては、ピアサポーターが相談機関や教職員を紹介してくれ、適切な指導を受けることができます。

場 所：共通講義棟A1階西側（P74参照）

T E L：089-927-8920（ピア@カフェ直通）

1. 修学支援システム

1. 修学支援システムへのログイン

1. 修学支援システムへは、学内のパソコンを利用するために新入学時に大学から配付されるアカウントとパスワードを利用してログインします。
[ID]にアカウントを、[パスワード]にパスワードを入力し、[ログイン]をクリックします。

アカウントとパスワードが不明な場合は学生証を持参し、総合情報メディアセンター窓口で所定の手続きを行ってください。

※パスワードの変更方法は総合情報メディアセンターホームページで確認してください。

総合情報メディアセンタートップ画面→センター計算機利用→[パスワード変更]

2. 履修登録をする

【履修登録～抽選まで】

1. 学生トップページで、[履修登録]をクリックします。
2. 履修学期が変わると、履修登録を行う前に本人宿所情報と保証人情報の確認画面が表示されます。
内容を確認・変更の上、履修登録を行ってください。
また、学年によっては進路情報の登録画面が表示されます。

変更がなければ、[履修登録開始]ボタンをクリックし、履修登録を開始します。

履修登録を行う前に、宿所情報及び保証人情報を確認して下さい。
「電話番号」「メールアドレス」等の本人連絡先は大学からの重要な連絡の際に利用されますので正確に入力してください。

該当欄が空白または、変更がある場合は、[変更]ボタンをクリック、内容を更新して下さい。
下記の内容に変更がなければ、[履修登録開始]ボタンをクリック、履修登録を行ってください。
東氏名に変更がある場合は学部等窓口で所定の手続きを行ってください。
※保証人の変更を行った場合は学部等窓口で別途手続きを行ってください。新規に入力し、変更を伴わない場合、手続きは不要です。

学生番号	2015001676
氏名	学生 太郎
フリガナ	カウセイ タロウ
学部等	工学部
学科等	情報材料工学科
コース等	
分室等	
年次	2

【本人宿所情報】 [変更]

宿所情報は、修学指導等、重要な連絡のために使われます。

郵便番号	1830051
住所	東京都
市区町村	台東区
電話番号	03-1234567
携帯電話	090-12345678
メールアドレス	mail@xxx.ac.jp
メールアドレス	mail@xxx.ac.jp
父姓等氏名	父
父姓等フリガナ	カウセイ
父姓等続柄	母
父姓等郵便番号	1430002
父姓等住所	東京都大田区山王1-1-1
父姓等電話番号	03-1234567
父姓等メールアドレス	mail@xxx.ac.jp
本人勤務先	勤務先
所属サークル	ユースホステル
教員との連絡	面談している 面談日:

【保証人情報】 [変更]

学生の修学指導、修学指導等、重要な連絡のために使われます。宿所情報、保証人情報は大学からの重要な連絡の際に利用されます。

保証人氏名	保証 太郎
保証人フリガナ	カウセイ タロウ
保証人続柄	父
保証人郵便番号	1580081
保証人住所	杉並区久我山1-1-1久我山マンション
保証人電話	0355555555
保証人携帯電話	09011111111
保証人メールアドレス	

履修登録開始

- ① 各項目を入力し、[確認画面に進む]ボタンをクリックします。

●本人宿所情報

初期状態は空白です。必ず入力して下さい。

学生番号	2015001676
氏名	学生 太郎
フリガナ	カウセイ タロウ
学部等	工学部
学科等	情報材料工学科
コース等	
分室等	
年次	2

【本人宿所情報】 [変更]

宿所情報は、修学指導等、重要な連絡のために使われます。

郵便番号	1830051
住所	東京都
市区町村	台東区
電話番号	03-1234567
携帯電話	090-12345678
メールアドレス	mail@xxx.ac.jp
メールアドレス	mail@xxx.ac.jp
父姓等氏名	父
父姓等フリガナ	カウセイ
父姓等続柄	母
父姓等郵便番号	1430002
父姓等住所	東京都大田区山王1-1-1
父姓等電話番号	03-1234567
父姓等メールアドレス	mail@xxx.ac.jp
本人勤務先	勤務先
所属サークル	ユースホステル
教員との連絡	面談している 面談日:

【保証人情報】 [変更]

学生の修学指導、修学指導等、重要な連絡のために使われます。宿所情報、保証人情報は大学からの重要な連絡の際に利用されます。

保証人氏名	保証 太郎
保証人フリガナ	カウセイ タロウ
保証人続柄	父
保証人郵便番号	1580081
保証人住所	杉並区久我山1-1-1久我山マンション
保証人電話	0355555555
保証人携帯電話	09011111111
保証人メールアドレス	

履修登録開始

●保証人情報

修正を行った場合は窓口で所定の手続きを行ってください。

学生番号	2015001676
氏名	学生 太郎
フリガナ	カウセイ タロウ
学部等	工学部
学科等	情報材料工学科
コース等	
分室等	
年次	2

【本人宿所情報】 [変更]

宿所情報は、修学指導等、重要な連絡のために使われます。

郵便番号	1830051
住所	東京都
市区町村	台東区
電話番号	03-1234567
携帯電話	090-12345678
メールアドレス	mail@xxx.ac.jp
メールアドレス	mail@xxx.ac.jp
父姓等氏名	父
父姓等フリガナ	カウセイ
父姓等続柄	母
父姓等郵便番号	1430002
父姓等住所	東京都大田区山王1-1-1
父姓等電話番号	03-1234567
父姓等メールアドレス	mail@xxx.ac.jp
本人勤務先	勤務先
所属サークル	ユースホステル
教員との連絡	面談している 面談日:

【保証人情報】 [変更]

学生の修学指導、修学指導等、重要な連絡のために使われます。宿所情報、保証人情報は大学からの重要な連絡の際に利用されます。

保証人氏名	保証 太郎
保証人フリガナ	カウセイ タロウ
保証人続柄	父
保証人郵便番号	1580081
保証人住所	杉並区久我山1-1-1久我山マンション
保証人電話	0355555555
保証人携帯電話	09011111111
保証人メールアドレス	

履修登録開始

- ② 入力内容を確認し、[変更内容を登録する]ボタンをクリックします。

●本人宿所情報

登録完了画面が表示されます。

学生番号	2015001676
氏名	学生 太郎
フリガナ	カウセイ タロウ
学部等	工学部
学科等	情報材料工学科
コース等	
分室等	
年次	2

【本人宿所情報】 [変更]

宿所情報は、修学指導等、重要な連絡のために使われます。

郵便番号	1830051
住所	東京都
市区町村	台東区
電話番号	03-1234567
携帯電話	090-12345678
メールアドレス	mail@xxx.ac.jp
メールアドレス	mail@xxx.ac.jp
父姓等氏名	父
父姓等フリガナ	カウセイ
父姓等続柄	母
父姓等郵便番号	1430002
父姓等住所	東京都大田区山王1-1-1
父姓等電話番号	03-1234567
父姓等メールアドレス	mail@xxx.ac.jp
本人勤務先	勤務先
所属サークル	ユースホステル
教員との連絡	面談している 面談日:

【保証人情報】 [変更]

学生の修学指導、修学指導等、重要な連絡のために使われます。宿所情報、保証人情報は大学からの重要な連絡の際に利用されます。

保証人氏名	保証 太郎
保証人フリガナ	カウセイ タロウ
保証人続柄	父
保証人郵便番号	1580081
保証人住所	杉並区久我山1-1-1久我山マンション
保証人電話	0355555555
保証人携帯電話	09011111111
保証人メールアドレス	

履修登録開始

●保証人情報

登録完了画面が表示されます。

学生番号	2015001676
氏名	学生 太郎
フリガナ	カウセイ タロウ
学部等	工学部
学科等	情報材料工学科
コース等	
分室等	
年次	2

【本人宿所情報】 [変更]

宿所情報は、修学指導等、重要な連絡のために使われます。

郵便番号	1830051
住所	東京都
市区町村	台東区
電話番号	03-1234567
携帯電話	090-12345678
メールアドレス	mail@xxx.ac.jp
メールアドレス	mail@xxx.ac.jp
父姓等氏名	父
父姓等フリガナ	カウセイ
父姓等続柄	母
父姓等郵便番号	1430002
父姓等住所	東京都大田区山王1-1-1
父姓等電話番号	03-1234567
父姓等メールアドレス	mail@xxx.ac.jp
本人勤務先	勤務先
所属サークル	ユースホステル
教員との連絡	面談している 面談日:

【保証人情報】 [変更]

学生の修学指導、修学指導等、重要な連絡のために使われます。宿所情報、保証人情報は大学からの重要な連絡の際に利用されます。

保証人氏名	保証 太郎
保証人フリガナ	カウセイ タロウ
保証人続柄	父
保証人郵便番号	1580081
保証人住所	杉並区久我山1-1-1久我山マンション
保証人電話	0355555555
保証人携帯電話	09011111111
保証人メールアドレス	

履修登録開始

- ③ 登録完了画面が表示されます。
[戻る]ボタンをクリックし、本人宿所情報と保証人情報の確認画面に戻り、履修登録を開始してください。

登録が完了しました。
[戻る]ボタンをクリックし、履修登録を開始して下さい。

戻る

3. 時間割形式の履修登録画面が表示されます。
登録したい曜日・時限の[追加]ボタンをクリックします。
[時間割検索]での登録方法 → P69参照
[コード直接入力]での登録方法 → P70参照

平成28年度入学生・新卒生 履修登録方法について
平成28年度 共通教育基礎科目(基礎)の再履修について
平成28年度前期・後期科目一覧

☐ 今学期は履修しない
休学を検討されている方は所属窓口までご連絡ください。

時間割形式入力 一覧形式入力 印刷用ページ

共通教育履修科目 自学科履修科目 他学科履修科目 履修登録科目一覧

追加ボタンを押して時間割リストを表示し、時間割を選択すると時間割が登録されます。

2016年度前期

月	火	水	木	金	土	
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
第1等						
第2等						

履修登録をしない場合は「今学期は履修しない」をチェックし、「登録」ボタンをクリックします。
※履修登録期間中であれば、この操作を行った後でも履修登録は可能です。

[追加]ボタンをクリック

4. 時間割一覧が表示されます。
希望する時間割の[追加]ボタンをクリックします。
全て入力したら履修登録は完了です。

【共通教育科目】 共通教育科目のコマの背景は水色になります。

共通教育		自学科 自コース		教職 学芸員		他学科 他コース	
学部名	時間割番号	科目名	教員名	単位数	選択区分	定員	登録者数
1 共通教育	10418	微積分I(履修)	西川 太郎	4	必修	46	
2 共通教育	10964	日本語I(日本語Iに準拠)	教員 太郎	2	要件外	5	
3 共通教育	A0524	現代と科学技術	教員 太郎	1	選必修	49	48
4 共通教育	B0501	環境を生きる	教員 太郎	1	選必修	50	50

A0524 1Q
1単位
[主題探究型科目]
現代と科学技術
教員 太郎
抽選対象 削除

[定員]は受講可能定員数を示します。
[登録者数]は現在の履修登録者数を示します。

【自学科、自コース科目】 自学科、自コース科目のコマの背景は緑色になります。

共通教育		自学科 自コース		教職 学芸員		他学科 他コース	
学部名	時間割番号	科目名	教員名	単位数	選択区分	定員	登録者数
1 工学部	15407	微分方程式	教員 太郎	2	必修	80	

15407 前期
2単位
[専門教育科目専門基礎科目必修]
微分方程式
教員 太郎
削除

[自学科自コース]タブをクリック

【教職、学芸員科目】 教職、学芸員科目のコマの背景は緑色になります。

共通教育		自学科 自コース		教職 学芸員		他学科 他コース	
学部名	時間割番号	科目名	教員名	単位数	選択区分	定員	登録者数
1 工学部	15408	電気回路	教員 太郎	2	必修	87	

15408 前期
2単位
[専門教育科目専門基礎科目必修]
電気回路
教員 太郎
削除

[教職学芸員]タブをクリック

【他学科、他コース科目】他学科、他コース科目のコマの背景は黄色になります。

学部名	時間割番号	科目名	教員名	単位数	選択区分	定員	登録者数	備考
工学部	15202	基礎物理学	教員 太郎	2			88	
工学部	15304	高度建設工学基礎実習	教員 太郎, 他	2			95	

15202 前期 2単位 [その他の科目] 基礎物理学 教員 太郎

他学部履修登録について

他学部履修は申請用紙に基づき窓口で手続きが行えます。履修希望の方は所属窓口で履修登録期間内に所定の手続きを行ってください。

●履修登録時のエラーについて

抽選対象科目以外で定員が設定されている科目については、先着順となりますので履修者数が定員数に達すると、以下のようなメッセージが表示され、追加できません。

時間割番号:13111 科目名:数学序論
FULL:先着順で定員が満たされました(空きがありません)

履修対象外の科目や、他学部科目等webからの登録が許可されていない科目を登録しようとすると、以下のようなメッセージが表示され、追加できません。

時間割番号:15202 科目名:基礎物理学
DISABLE:web上では登録できない科目です

エラー内容が不明な場合は、所属窓口にお問合せください。

●特別許可科目について

窓口申請するなどして特別許可で履修登録された科目はコマの背景が青色で表示され、履修登録の変更は行えません。

15415 前期 2単位
[専門教育科目専門科目専門コア科目必修]
固体熱力学
教員 太郎

【抽選後～履修確定】

- 抽選後、履修登録画面は下のようになります。抽選漏れしたコマには、科目を再登録することができますので、追加したい場合は[追加]ボタンをクリックします。

2016年度前期

月	火	水	木	金	土
1	A0524 1Q 1単位 [主選課決定科目] 現代社会英語 教員 太郎 定員充足		A0607 1Q 1単位 [総合分野] 生活科学入門 教員 太郎 空きあり		
2	15415 前期 2単位 [専門教育科目専門科目専門コア科目必修] 固体熱力学 教員 太郎		B0637 2Q 1単位 [自然科学分野] 自然科学分野 教員 太郎 抽選漏れ		
3	15401 前期 2単位 [専門教育科目専門科目専門コア科目必修] 基礎力学 教員 太郎				
4				15301 前期 [その他の科目] 工学基礎実習 教員 太郎	

- 時間割一覧が表示されます。希望する時間割の[追加]ボタンをクリックします。

共通教育		自学科 自コース	教職 学空自	他学科 他コース					
本選 1限									
学部名	時間割番号	科目名	教員名	単位数	選択区分	定員	登録者数	備考	
1 共通教育	10964	日本語B1(日本語B1に相当)	教員 教員	追加	2	要件外	5		
2 共通教育	A0637	生物学入門	教員 太郎	追加	1	選必修	150	120	空きあり
3 共通教育	B0607	生活科学入門	教員 太郎	追加	1	選必修	105	65	空きあり
4 共通教育	B0619	法学入門	教員 太郎	追加	1	選必修	150	150	
5 共通教育	B0638	地学入門	教員 太郎	追加	1	選必修	150	61	空きあり
閉じる									

抽選により既に定員充足となった授業科目は表示されません。

7. 科目が追加されます。
追加・修正等が終了したら、履修登録は完了です。

平成22年度以降入学者の共通科目の履修方法について
平成28年度入学者（前学期、平成28年度）
平成28年度 共通教育基礎科目（英語）の履修について
平成28年度前学期 2792が最終一覧

時間割形式入力 一覧形式入力 印刷用ページ

共通教育履修科目 工学部履修科目 取得済み科目一覧

追加ボタンを押して時間割リストを表示し、時間割を選択すると時間割が登録されます。

	月	火	水	木	金	土
1		A0524 1Q [主幹教育科目] 理化学基礎 教員 太郎 定員 充足		A0607 1Q [総合分野] 生活科学入門 教員 太郎 空きあり		
2	15415 前期 2単位 [専修教育科目] 目専修科目必修 [目専修科目] 教員 太郎			B0638 2Q 1単位 [自然科学分野] 化学入門 教員 太郎 空きあり		
3		15401 前期 2単位 [専修教育科目] 基礎力学 教員 太郎				
4				15101 前期 [その他の科目] 工学基礎実験 教員 太郎		

科目が追加されると、抽選漏れした科目は削除されます。

履修登録期間が終了すると、申請した内容が確定されます。

■[時間割検索]での登録方法

- ① [時間割検索]ボタンをクリックします。

時間割形式入力 一覧形式入力 印刷用ページ

共通教育履修科目 工学部履修科目 取得済み科目一覧

追加ボタンを押して時間割リストを表示し、時間割を選択すると時間割が登録されます。

	月	火	水	木	金	土
1						

- ② 時間割検索画面が表示されます。
検索条件を入力して[検索]ボタンをクリックすると、時間割一覧が表示されます。
希望する時間割の[追加]ボタンをクリックします。

履修時間割を検索します。条件を入力し検索ボタンを押してください。

開講学部 工学部

開講学科

開講曜日 木曜日

開講学期 前期

授業科目名 力学演習

担当教員名

検索 閉じる

時間割一覧

学部名	時間割番号	科目名	教員名	単位数	選択区分	曜日・時限	定員	登録者数	備考
1 工学部	15405	力学演習	教員 太郎	1	必修	木1	60		

検索条件を指定し、[検索]ボタンをクリックします。

- ③ 時間割表に反映されます。
追加・修正等が終了したら、履修登録は完了です。

時間割形式入力 一覧形式入力 印刷用ページ

共通教育履修科目 工学部履修科目 取得済み科目一覧

追加ボタンを押して時間割リストを表示し、時間割を選択すると時間割が登録されます。

	月	火	水	木	金	土
1				15405 前期 1単位 [専修教育科目] 目専修科目必修 [目専修科目] 力学演習 教員 太郎		
2	15415 前期 2単位 [専修教育科目] 目専修科目必修 [目専修科目] 教員 太郎					

時間割表に反映されます。

■[コード直接入力]での登録方法

- ① [コード直接入力]ボタンをクリックします。

- ② 時間割コード入力画面が表示されます。
希望する時間割の時間割コードを入力し、[追加]ボタンをクリックします。

- ③ 時間割表に反映されます。
追加・修正等が終了したら、履修登録は完了です。

3. 履修時間割表を印刷する

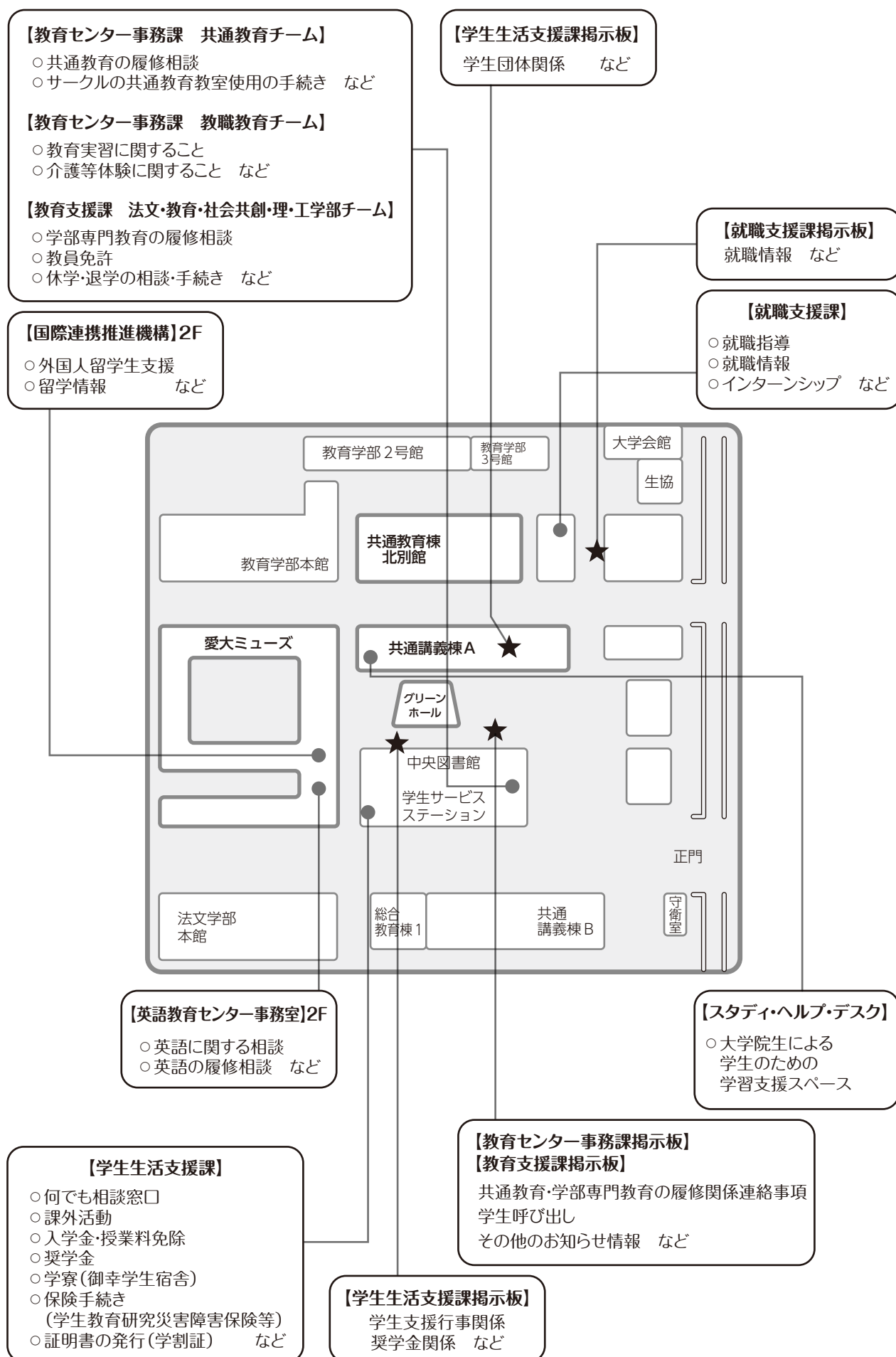
1. 学生トップページで、[履修時間割表]をクリックします。
2. 履修時間割表が表示されます。
印刷する場合は[印刷用ページ]ボタンをクリックします。

		2016年度前期					
		月	火	水	木	金	土
1	1Q	A0403 1Q 1単位 英語/アカデミック 教員 木部	13003 1Q 2単位 英語II 教員 木部	10156 前期 2単位 こころと身体 教員 木部、他		13003 1Q 2単位 英語II 教員 木部	
	2Q	B0446 2Q 1単位 英語/アカデミック 教員 木部	13007 2Q 2単位 英語I 教員 木部	10156 前期 2単位 こころと身体 教員 木部、他		13007 2Q 2単位 英語I 教員 木部	
2	1Q	A0227 1Q 1単位 英語 教員 木部	13301 1Q 1単位 英語I 教員 木部	A0640 1Q 1単位 英語入門 教員 木部			
	2Q	B0227 2Q 1単位 英語 教員 木部	13302 2Q 1単位 英語I 教員 木部	B0601 2Q 1単位 英語入門 教員 木部	他課付帯 教員 木部		
3	1Q				13311 前期 2単位 英語I 教員 木部	13211 前期 2単位 英語I 教員 木部	
	2Q				13311 前期 2単位 英語I 教員 木部	13211 前期 2単位 英語I 教員 木部	
4	1Q	A0642 1Q 1単位 化学入門 教員 木部	10179 前期 2単位 スエーデン 教員 木部	13201 前期 2単位 物理I 教員 木部	A0227 1Q 2単位 英語 教員 木部		
	2Q	B0640 2Q 1単位 化学入門 教員 木部	10179 前期 2単位 スエーデン 教員 木部	13201 前期 2単位 物理I 教員 木部	B0227 2Q 2単位 英語 教員 木部		
5	1Q		10083 前期 2単位 新人生化学I 教員 木部、他			10083 前期 2単位 新人生化学I 教員 木部、他	
	2Q		10083 前期 2単位 新人生化学I 教員 木部、他			10083 前期 2単位 新人生化学I 教員 木部、他	
6	1Q						
	2Q						
7	1Q						
	2Q						

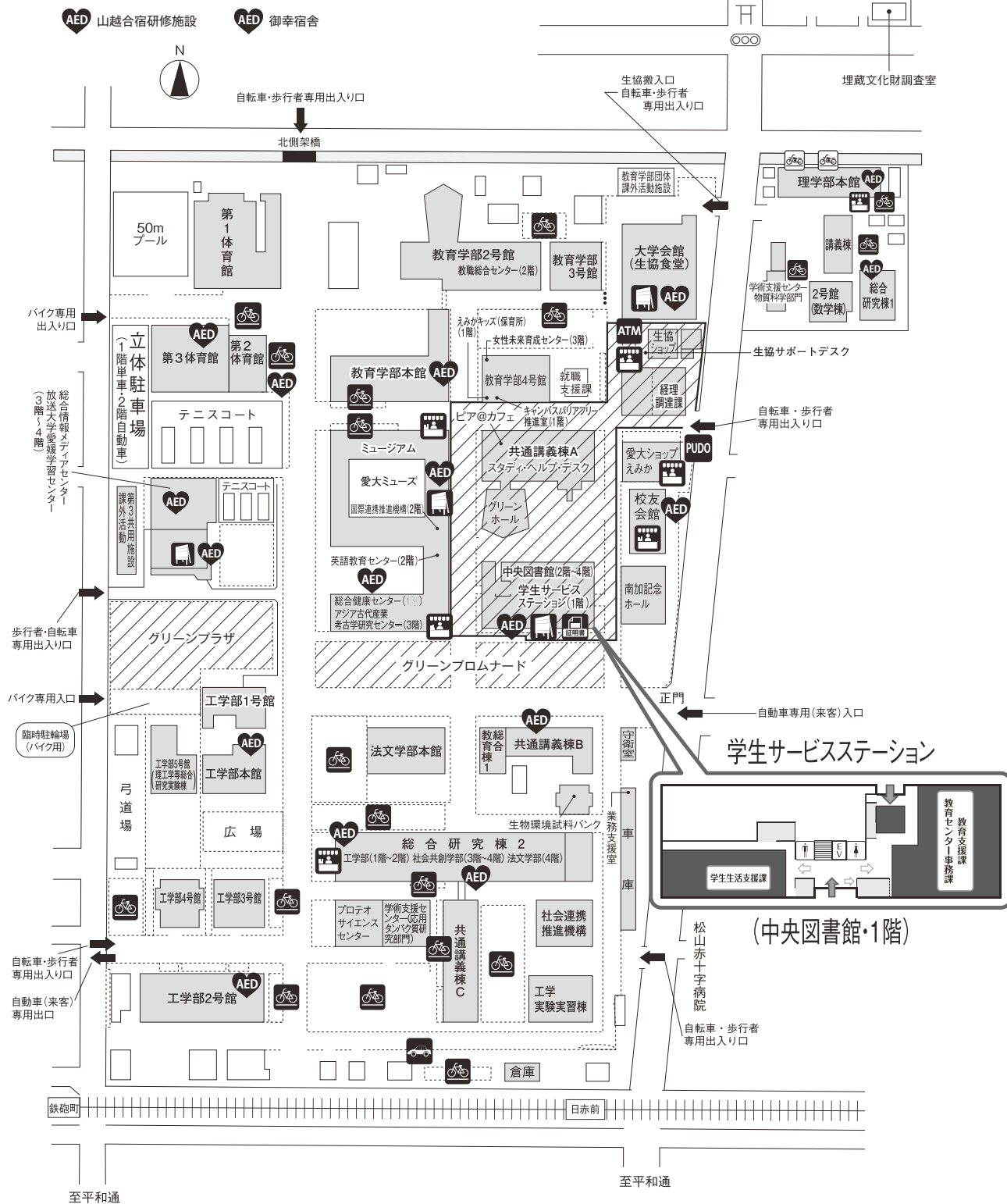
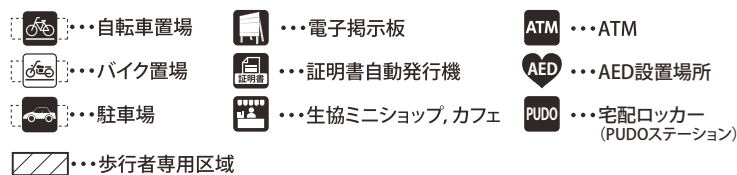
3. PDF 形式で履修登録確認表が表示されます。

[illegible]

2. 窓口案内・掲示板案内

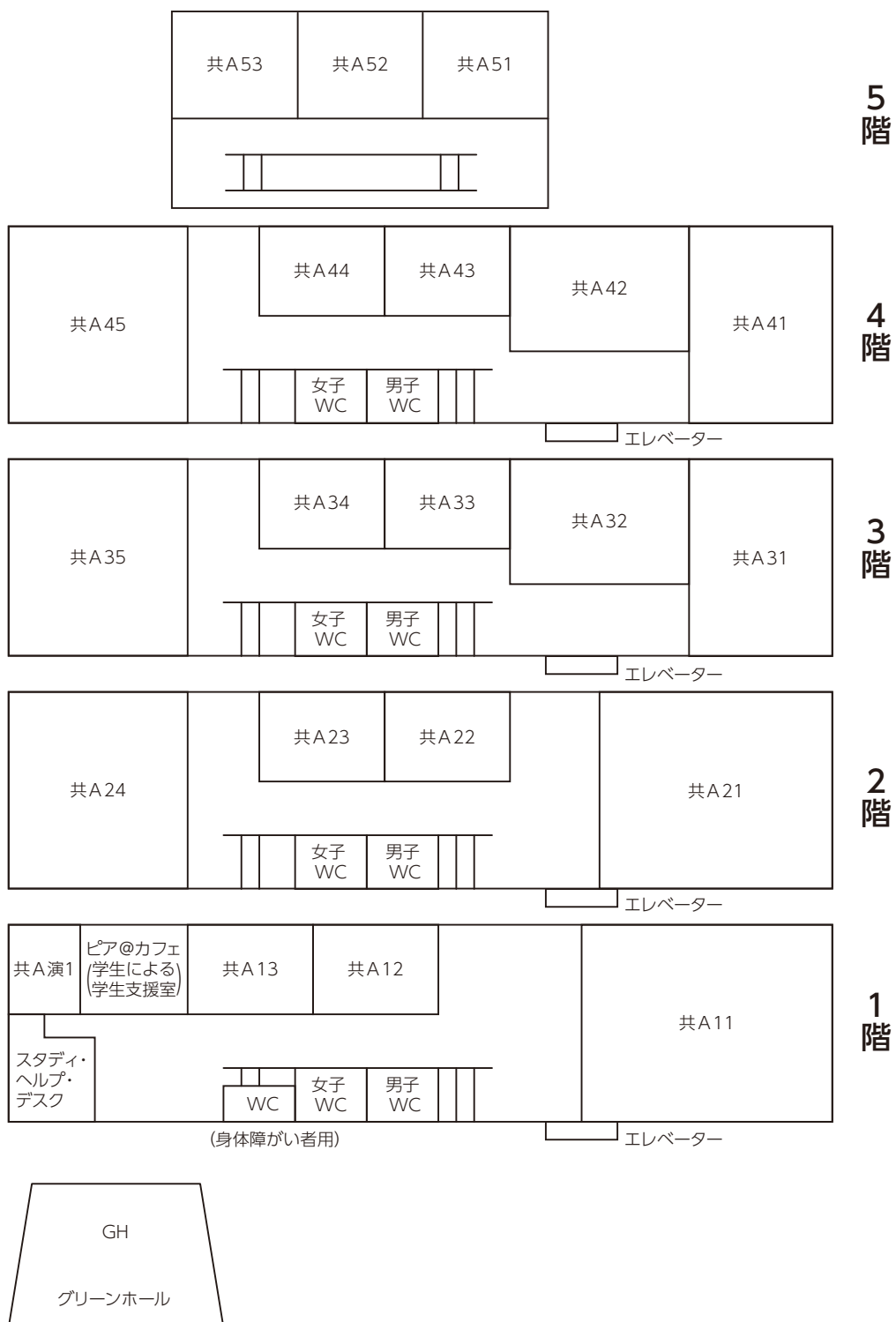


3. 学内案内図



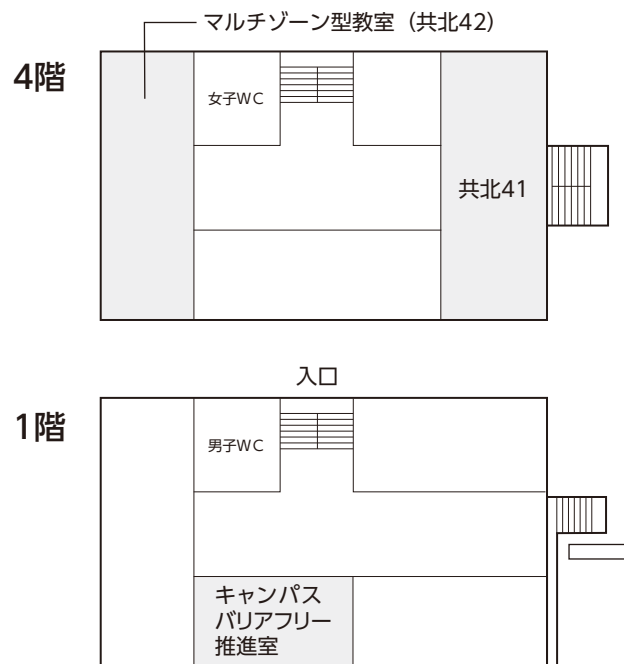
※「バリアフリーマップ」は、バリアフリー推進室のHPをご覧ください。

4. 教室等配置図（共通講義棟A・グリーンホール）

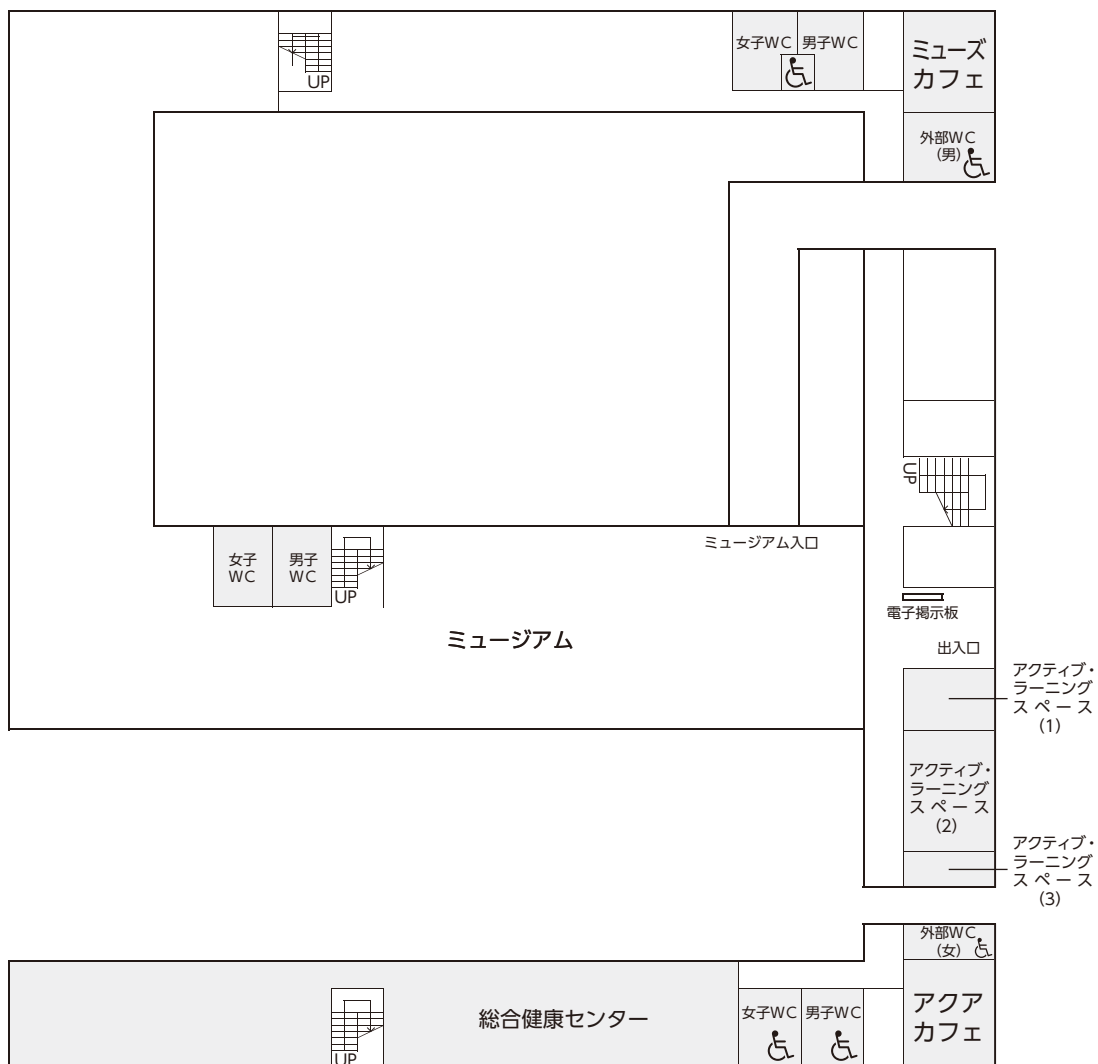


4. 教室等配置図（共通教育棟北別館・愛大ミューズ1階）

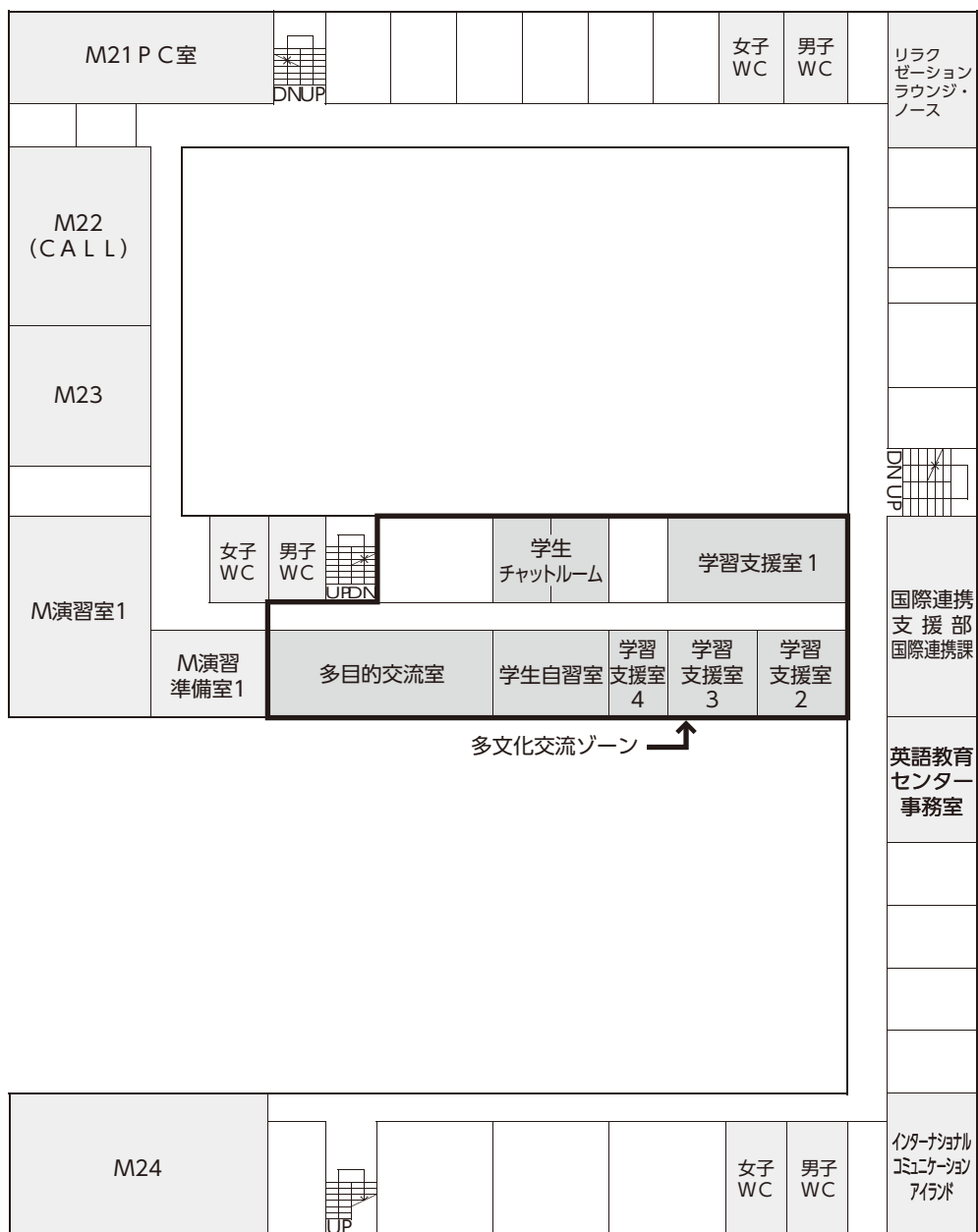
北別館



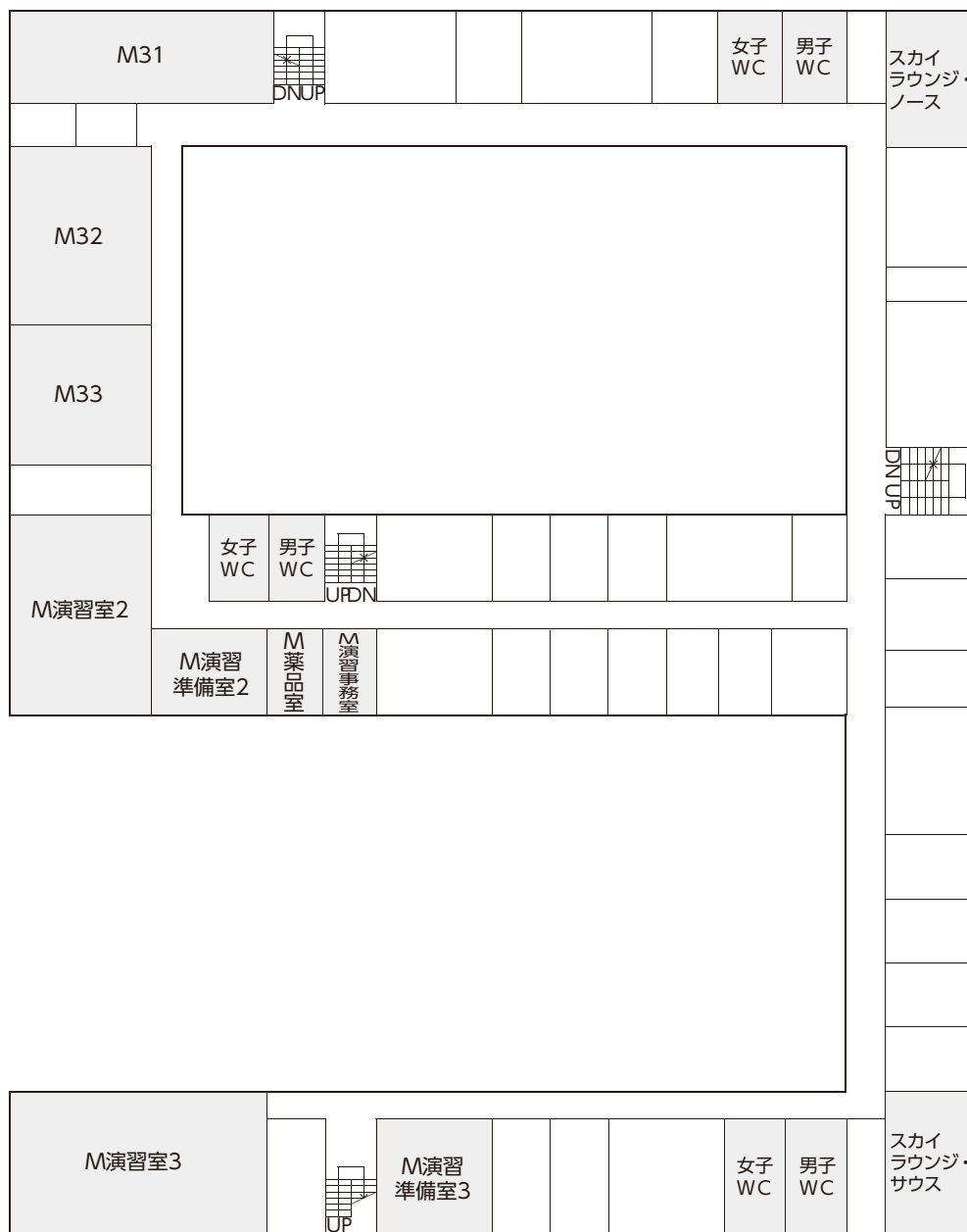
愛大ミューズ1階



4. 教室等配置図（愛大ミューズ2階）



4. 教室等配置図（愛大ミューズ3階）



5. 規則一覧

愛媛大学共通教育科目規程

〔平成18年7月12日〕
規 則 第167号

- (趣旨)
- 第1条 愛媛大学学則（以下「学則」という。）第11条に定める愛媛大学（以下「本学」という。）の共通教育科目に関し必要な事項は、学則等に定めるもののほか、この規程の定めるところによる。
- (共通教育科目の実施)
- 第2条 本学の共通教育科目は、全学協力体制のもとに実施する。
- 2 共通教育科目に係る教育の企画、運営及び実施については、共通教育センターがこれに当たる。
- (科目区分)
- 第3条 共通教育科目の区分は、次のとおりとする。
- (1) 初年次科目
 - (2) 基礎科目
 - (3) 教養科目
 - (4) 発展科目
 - (5) 留学生対象科目
- (授業科目及び単位数)
- 第4条 共通教育科目の授業科目及び単位数は、別に定める。
- (授業科目の登録)
- 第5条 本学の教授、准教授及び講師は、所定の手続により、担当可能な共通教育科目の授業科目の登録を行わなければならない。
- (授業の担当)
- 第6条 前条の教員は、共通教育科目の授業を担当する。
- 2 共通教育科目の授業は、共通教育センター長が必要と認めたときは、所属する部局等の長の同意を得て、本学の助教も担当又は分担できるものとする。
- (その他)
- 第7条 この規程に定めるもののほか、共通教育科目に関し必要な事項は、愛媛大学教育・学生支援機構長が定める。
- 附 則
この規程は、平成18年7月12日から施行し、平成18年4月1日から適用する。
- 附 則
この規程は、平成19年4月1日から施行する。
- 附 則
この規程は、平成20年4月1日から施行する。
- 附 則
この規程は、平成21年4月1日から施行する。
- 附 則
この規程は、平成22年4月1日から施行する。
- 附 則
この規程は、平成25年4月1日から施行する。

共通教育科目の履修等に関する申合せ

〔平成18年10月27日〕
共通教育センター会議決定

- (履修科目の手続)
- 第1 学生は、履修しようとする授業科目を、所定の手続きにより登録しなければならない。
- (重複履修の取扱い)
- 第2 授業科目の重複履修については、別に定める。
- (学業成績判定)
- 第3 学業成績の判定は、愛媛大学学業成績判定に関する規程に定めるところによる。
- (追試験の実施)
- 第4 次に掲げる理由により試験を受験できなかった者から願い出があった場合には、追試験を実施することができる。
- (1) 愛媛大学学業成績判定に係る授業欠席の取扱いに関する申合せ第2に定める理由
 - (2) その他共通教育センター長が必要と認めたもの
- (試験に際し不正行為があった場合の取り扱い)
- 第5 試験に際し不正行為があった場合は、当該学生が所属する学部が共通教育チームの協力を得て対応するものとする。
- (入学前の既修得単位等の認定)
- 第6 学則第17条の規定により学生が本学に入学する前に他の大学若しくは短期大学（外国の大学又は短期大学を含む。）又は大学以外の教育施設等において履修した授業科目に係る共通教育科目に相当する単位等の認定については、当該学生の所属する学部の教授会が行う。
- (他の大学等における授業科目の履修等)
- 第7 学則第24条又は第25条により他の大学若しくは短期大学（外国の大学又は短期大学を含む。）又は大学以外の教育施設等において履修した授業科目に係る共通教育科目に相当する単位等の認定については、当該学生の所属する学部の教授会が行う。
- (聴講生及び科目等履修生の取扱い)
- 第8 聴講生及び科目等履修生の入学及び在学期間の更新の願い出は、共通教育センター会議で審議する。
- (新入生セミナーの取扱い)
- 第9 新入生セミナーの履修に関する事項については、それぞれの学部が直接取り扱うものとする。
- (集中講義の実施期間)
- 第10 集中講義は、原則として授業期間以外の期間（長期休業中等）に実施するものとする。
- 附 則
この申合せは、平成18年10月27日から施行する。
- 附 則
この申合せは、平成25年4月1日から施行する。
- 附 則
この申合せは、平成28年9月12日から施行する。

愛媛大学学業成績判定に関する規程

（平成16年4月1日）
規 則 第153号

- (趣旨)
- 第1条 この規程は、愛媛大学学則（以下「学則」という。）第20条に定める学業成績の判定に関して、必要な事項を定める。
- (学業成績の判定)
- 第2条 学業成績は、試験及び平素の成績を総合して判定する。
- 2 学業成績の判定に際しては、あらかじめシラバス等で評価基準を学生に周知し、明示した基準に基づき厳正に判定する。
- (試験)
- 第3条 試験は、筆記、レポート、口述等により実施する。
- 2 試験の実施に当たっては、あらかじめ日時を公示する。ただし、授業科目によっては随時行うことがある。この場合の試験方法及び日時は、その授業科目の担当教員の定めるところによる。
- 3 各学部規則の定める履修科目の届出がない者は、受験することができない。
- (平素の成績)
- 第4条 平素の成績は、研究報告、随時行う小考査、学習状況等によって判定する。
- (出席時間数の取扱い)
- 第5条 各授業科目につき、その開講時数の3分の2以上出席していない者については、その授業科目の学業成績は、判定しない。ただし、別に定める申合せ等で正当な理由による授業欠席として認めた場合は、この限りでない。
- (評点)
- 第6条 学業成績評点は、各授業科目につき100点をもって満点とする。
- (単位修得の評点)
- 第7条 60点以上の学業成績評点を得た授業科目については、所定の単位を修得したものととする。
- (学業成績判定の評語)
- 第8条 学業成績判定の評語は、原則として秀、優、良、可及び不可とし、その区分は、次のとおりとする。
- 秀 90点以上100点まで
優 80点以上90点未満
良 70点以上80点未満
可 60点以上70点未満
不可 60点未満
- (不正行為の取扱い)
- 第9条 試験に際し不正行為を行った者については、当該学期の全学業成績は、判定しない。
- 2 前項の不正行為を行った者は、愛媛大学学生懲戒処分規程第3条第5号及び第5条の規定に基づき処分する。
- 第10条 学則第45条第3号の規定により除籍された者については、授業料未納期間に係る単位は認定しない。
- 附 則
この規程は、平成16年4月1日から施行する。
- 附 則
1 この規程は、平成18年4月1日から施行する。
2 平成17年度以前に入学した者に係る学業成績判定の評語については、改正後の第8条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 附 則
この規程は、平成19年4月1日から施行する。
- 附 則
この規程は、平成20年4月1日から施行する。
- 附 則
この規程は、平成21年4月1日から施行する。
- 附 則
この規程は、平成28年4月1日から施行する。
- 附 則
この規程は、平成28年7月6日から施行する。
- 附 則
この規程は、平成30年4月25日から施行する。

愛媛大学学業成績判定に係る
授業欠席の取扱いに関する申合せ

（平成20年11月5日）
教育・学生支援機構
教育学生支援会議決定

- (趣旨)
- 第1 この申合せは、愛媛大学学業成績判定に関する規程（以下「規程」という。）第5条ただし書きに係る正当な理由による授業欠席の取扱いに関し、必要な事項を定めるものとする。
- (授業欠席の取扱い)
- 第2 学生が次の各号に掲げる理由により授業を欠席した場合は、これを出席には取り扱わないが、正当な理由による授業欠席として認めることができる。
- (1) 学校保健安全法施行規則に定める感染症に感染した場合
(2) 学生の親族（別表に掲げる親族に限る。）が死亡した場合
(3) 自然災害に遭い授業欠席がやむを得ないと認められる場合
(4) 教育実習（応用実習及び実習校との打合せを含む。）に参加した場合
(5) 博物館実習（実習施設との打合せを含む。）に参加した場合
(6) 介護等体験（受入先との打合せを含む。）に参加した場合
(7) 授業として行うインターンシップ（受入先との打合せを含む。）に参加した場合
(8) 本学が大学として開催に関わる大会（中・四国国立大学連合演奏会、中・四国国立大学連合美術展覧会、四国地区大学総合体育大会等）に参加した場合
(9) 本学が要請した用務に参加した場合
(10) 当該学部又は教育・学生支援機構が認めた場合
- 2 前項の取扱いによる授業欠席は、第1号から第3号までの場合を除き、各授業科目につき、開講時数に対応する授業の回数が15回の場合は2回を限度とし、15回以外の場合は開講時数に15分の2を乗じて得られた時間数に対応する授業の回数を限度とする。
- (授業欠席時間数の取扱い)
- 第3 各授業科目の開講時数に対する出席時間数の割合の算定に当たっては、第2の取扱いによる授業欠席時間数は、開講時数に含めない。
- (授業欠席の手続き)
- 第4 この取扱いを希望する学生は、別紙様式の授業欠席申出書により授業担当教員へ申し出るものとする。
- 2 前項の授業欠席申出書を受領した授業担当教員は、当該学生に対し、適切な学習支援を行うものとする。

附 則

- 1 この申合せは、平成21年4月1日から施行する。
- 2 愛媛大学学業成績判定に関する規程第5条ただし書きに係る正当な理由による授業欠席の取扱いに関する申合せ（平成18年2月22日教育・学生支援機構管理運営委員会決定）は、廃止する。

附 則

この申合せは、平成21年10月28日から施行し、平成21年4月1日から適用する。

附 則

この申合せは、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この申合せは、平成23年7月6日から施行する。

附 則

この申合せは、平成28年7月6日から施行する。

別表（第2の第1項第2号関係 忌引き日数表）

親族	日 数	摘要
配偶者	7日	
父母	7日	
子	5日	
祖父母	3日	（学生が代襲相続し、かつ祭具等の継承を受ける場合にあっては7日）
孫	1日	
兄弟姉妹	3日	

(備考)

- 1 日数は最長とし、かつ連続する日とする。
- 2 葬儀のため遠隔の地に赴く場合にあっては、往復に要する日数を加えることができる。

学業成績判定に関する学生からの 申立てについて（ガイドライン）

（平成18年2月22日）
教育・学生支援機構
管理運営委員会決定
（改正：平成26年2月4日）

このガイドラインは、学業成績判定に関する取扱要項第8に規定する学生からの申立てに係る統一的な取り扱いを示す。

1. 学生は、学業成績が通知された後にその成績判定について疑義が生じた場合は、授業担当教員（非常勤講師を含む。以下同じ。）に、口頭又は文書により申立てることができる。
2. 学生からの申立てを受け付ける期間は、学業成績を通知した後、原則として1週間とし、掲示により通知する。
3. 授業担当教員は、学生からの申立てに対し、原則として面談により、成績判定に係る根拠、経緯等を説明する等、適切に対応する。この場合、授業担当教員は、必要に応じ教育コーディネーター等を同席させることができる。
やむを得ない事情により、メール・文書等で説明する場合は、事前に教育コーディネーター等と相談の上で、事務担当課を経由して行うものとする。
4. 文書により申立てを受け付ける場合の手続き及び措置方法は、次のとおりとする。

- （1）学生は、成績確認申立書（別紙様式）（以下「申立書」という。）に必要な事項を明記し、次に掲げる事務担当課等に提出する。

なお、帰省等の理由により、事務担当課等に直接申立書を提出することができない場合は、修学支援システムトップページ（<http://info.ehime-u.ac.jp/syugaku/stu/>）より申立書をダウンロードし、以下のメールアドレス宛に添付ファイルにより提出することができる。

区 分	学部等名	事務担当課等名（電話、メールアドレス）
共通教育 科目	全学部	教育学生支援部教育センター事務課共通教育チーム (089-927-8910, shokyotu@stuehime-u.ac.jp) (ただし法文学部夜間主コースは法文学部チーム)
	法文学部 (昼夜間主コース) 教育学部	教育学生支援部教育支援課各学部チーム 法文学部チーム (089-927-9221, llgakumu@stuehime-u.ac.jp) 教育学部チーム (089-927-9377, edgakumu@stuehime-u.ac.jp)
専門教育 科目	社会共創学部	社会共創学部チーム (089-927-9019, crigakum@stuehime-u.ac.jp)
	理学部	理学部チーム (089-927-9546, scigakum@stuehime-u.ac.jp)
	工学部	工学部チーム (089-927-9690, kougakum@stuehime-u.ac.jp)
	スーパーサイエンス特別コース	理学部チーム (089-927-9546, scigakum@stuehime-u.ac.jp)
	医学部	医学部学務課 (089-960-5175, mgakumu@stuehime-u.ac.jp)
	農学部	農学部事務課学務チーム (089-946-9806, agrgakum@stuehime-u.ac.jp)

- （2）事務担当課等の職員は、学生から提出された申立書の記載内容を確認のうえ受理（メールによる申立ての場合は、学生に対し受理メールを返信する。）し、授業担当教員に対し、申立書を添えて対応を依頼する。
- （3）授業担当教員は、学生からの申立てに対し、上記3の方法により対応する。
- （4）授業担当教員は、学生からの申立ての措置結果を申立書に記載し、事務担当課等へ提出する。
- （5）措置後の申立書は、事務担当課等において措置日以降1年間保存した後、廃棄する。

5. このガイドラインは、平成18年度前学期開講の授業科目から適用する。

愛媛大学学生懲戒処分規程（抜粋）

（平成21年1月14日）
規則 第5号

（趣旨）

- 第1条 この規程は、愛媛大学学則（以下「学則」という。）第51条及び愛媛大学大学院学則（以下「大学院学則」という。）第56条に規定する懲戒に関し、必要な事項を定める。

（懲戒の対象）

- 第3条 懲戒の対象となり得る行為は、次の各号に掲げるものとする。
- （1）刑罰法規に抵触する行為
 - （2）人権を侵害する行為
 - （3）交通法規に違反する行為
 - （4）情報倫理に反する行為
 - （5）試験等における不正行為
 - （6）論文等の作成における学問的倫理に反する行為
 - （7）本学の規則に違反する行為
 - （8）本学の教育研究等の業務を妨害する行為
 - （9）その他、学生の本分に反すると認められる行為

（懲戒処分の種類及び内容）

- 第4条 懲戒処分の種類及び内容は、次のとおりとする。
- （1）退学 学生としての身分を喪失させること。
 - （2）停学 有期停学又は無期停学とし、登学を禁ずること。
 - （3）戒告又は訓告 文書による注意を与え、自省を促し今後を戒めること。

（懲戒処分の量定）

- 第5条 懲戒処分の量定は、別表に定める懲戒処分の標準例に準拠する。ただし、過去に類似の行為を行ったことを理由として処分を受けたことがある場合、または処分の対象となり得る複数の行為を行っていた場合等においては、この限りではない。

別表（第5条関係）

懲戒処分の標準例

懲戒の対象となる行為	事 例	懲戒処分の基準
(1) 刑罰法規に抵触する行為	殺人、強盗、強姦、放火等の凶悪犯罪	退学
	傷害、窃盗、住居・建造物侵入、わいせつ行為、薬物（覚醒剤等）の所持等	退学以下
(2) 人権を侵害する行為	セクシュアル・ハラスメント等	退学以下
(3) 交通法規に違反する行為	飲酒運転、無免許運転、大幅な制限速度違反等起因する重大な人身事故及び物損事故	退学
	飲酒運転、無免許運転、大幅な制限速度違反等	退学以下
	交通違反に起因する人身事故及び物損事故、無車検運行等	停学以下
(4) 情報倫理に反する行為	コンピュータ、ネットワークへの不正アクセス、ネットワーク運用妨害、伝染性ソフトウェアの持込、情報漏洩等	退学以下
(5) 試験等における不正行為	代理（替え玉）受験、集団不正行為等悪質性の高い不正行為	退学以下
	カンニング	停学（無期停学）
(6) 論文等の作成における学問的倫理に反する行為	論文盗用、著作権の侵害等	退学以下
(7) 本学の規則に違反する行為	学則、大学院学則、学生準則等に違反する行為	退学以下
(8) 本学の教育研究等の業務を妨害する行為	授業妨害、研究妨害等	退学以下
(9) その他、学生の本分に反する行為	上記以外の行為	退学以下

2020(令和2)年度 共通教育履修案内

愛媛大学共通教育センター
(教育学生支援部教育センター事務課共通教育チーム)
〒790-8577 松山市文京町3番

学生証番号

--	--	--	--	--	--	--	--